#### 第14回国立公園満喫プロジェクト有識者会議

#### 議事次第

日時:令和3年3月17日(水)

15:30~17:30

場所:日本交通公社ビル

- 1. 開会
- 2. 議事
- (1) 国立公園満喫プロジェクトの実施について
- (2) その他
- 3. 閉会

#### 配付資料一覧

資料 1 2020 年の全国および国立公園等における利用動向

資料2 国立公園満喫プロジェクトの取組状況と成果

(別紙1) 自然公園法の一部を改正する法律案の概要

(別紙2) 令和3年度予算案、令和2年度3次補正予算について

資料3 2021年以降の指標にかかる検討について

資料4 国立公園満喫プロジェクトの経済効果の試算

資料 5 各公園のステップアッププログラム 2025 等の概要

資料6 支笏洞爺(支笏湖定山渓)、中部山岳(南部)、富士箱根

伊豆(富士山周辺地域)のこれまでの成果について

参考資料 1 国立公園満喫プロジェクトの 2021 年以降の取組方針(概要)

参考資料2 国定公園への展開について

参考資料3 国立公園訪日外国人利用者数の推計について(2019年)

参考資料4 国立公園満喫プロジェクト有識者会議 委員名簿

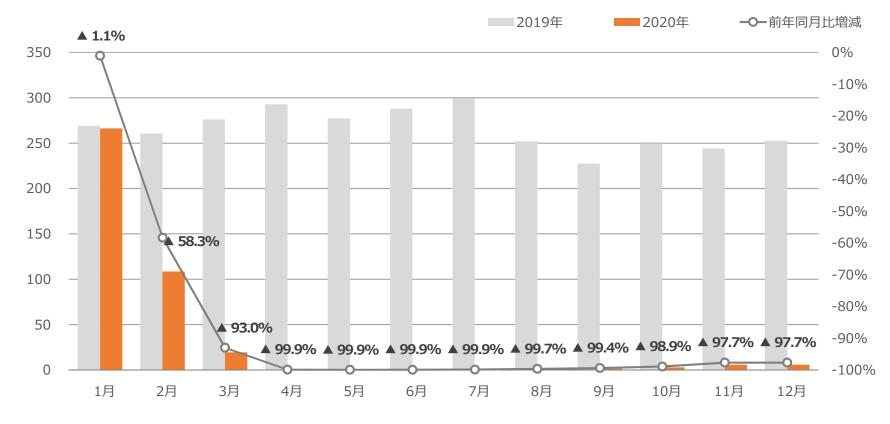
資料1

# 2020年の全国および国立公園等 における利用動向

# 2020年の日本全体の訪日外客の状況

- 2020年の訪日外客数は**411.6万人と前年比87.1%減**であった。
- 新型コロナウィルス感染症の拡大により水際対策が強化され、訪日外客数は2020年2月以降大きく減少、4月から7月は前年同月比99.9%減とほぼゼロに近い数字となった。7月以降、国際的な人の往来再開に向けた措置が段階的に進められ、ビジネス目的の入国が限定的ながら再開されたが、12月においても前年同月比97.7%であった。
- 2021年3月現在も、検疫強化、査証の無効化等の新型コロナウイルス感染症の水際対策が継続しており、**観光目的**での入国は依然として**認められていない**。

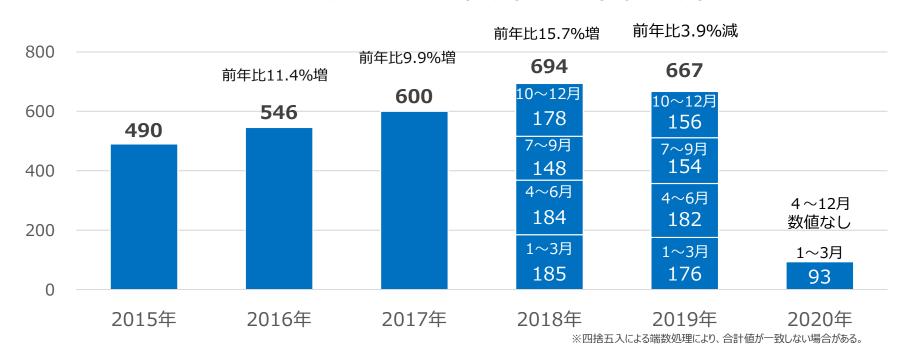
#### 訪日外客数の月別推移(単位:万人)



# 2020年の国立公園における訪日外国人利用者数

- 2020年の国立公園の訪日外国人利用者数は算出不可。4月以降新型コロナウイルス感染症の影響により入国制限が拡大し、推計に用いている観光庁「訪日外国人消費動向調査」が4~12月期に中止されたため。1~3月期の国立公園訪日外国人利用者数は93万人と推計。前年同期と比較して82万人減(46.8%減)。
- 国立公園外国人利用者数は、インバウンド市場の拡大成長とともに**2015年から2018年にかけて前年比10%以上**と 好調な伸びで推移し、特に2018年はプロジェクト開始以来最大の伸びとなったが、2019年は韓国客の減少や利用者数 の約3割を占める中国の伸び率が下がり微減となった。

#### 国立公園における訪日外国人利用者数(単位:万人)

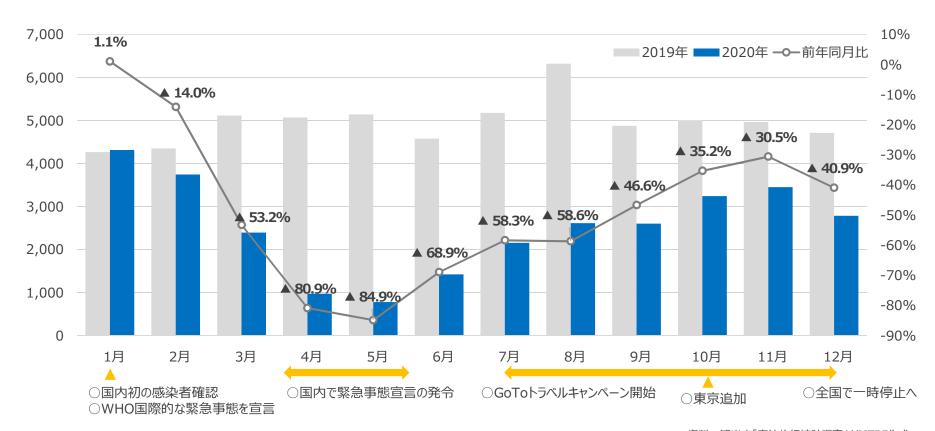


なお、2020年の質の指標については、新型コロナウイルス感染症の影響により訪日外国人利用者に対するアンケート調査を中止した。

# 2020年の日本全体の宿泊者数

- 国内延べ宿泊者数(日本人および外国人)は、国内で感染が拡大した2020年3月以降、大幅に減少し、<u>5月には前</u> 年同月比84.9%減となった。
- 5月末に緊急事態宣言が全国で解除、<u>7月にGoToトラベルキャンペーンが開始</u>されると、<u>宿泊者数は徐々に回復</u>し、<u>11</u> 月は前年同月比30.5%減</u>となった。しかし、再びの感染状況の悪化から、<u>GoToトラベルキャンペーンが全国で一時停止</u> となり、**12月は前年同月比40.9%減**となった。

#### 国内延べ宿泊者数(単位:万人)



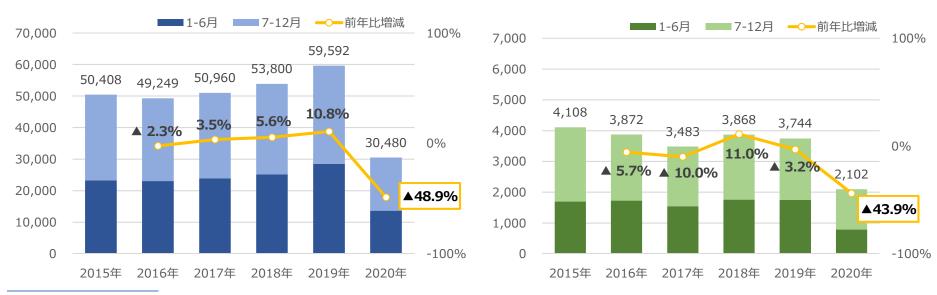
資料:観光庁「宿泊旅行統計調査」よりJTBF作成

# 2020年の国立公園における宿泊者数(全公園)

- 全国の宿泊者数(日本人および外国人)は、2015年から2016年にかけて減少したものの、2017年から2019年にかけて増加傾向。
- 国立公園区域内における宿泊者数(日本人および外国人)は、2015年から2017年にかけて減少、2018年に増加したものの2019年に再び減少に転じた。
- 2020年は新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、いずれの宿泊者数も減少。その前年比は**全国で48.9%減、国立公園内で43.9%減**と、国立公園内の方が減少幅が小幅におさまった。

#### 全国の延べ宿泊者数(単位:万人)

#### 国立公園区域内の延べ宿泊者数(単位:万人)



- ※国立公園内の宿泊者数は、観光庁「宿泊旅行統計調査」の調査票情報を利用して推計。
- ※2015年~2019年は、「宿泊旅行統計調査」結果の確報値、2020年は同調査結果の速報値を使用。

#### 2020年の国立公園における国内客の状況 - 宿泊者数 (公園別)

- 2020年はコロナ禍を受け、大部分の国立公園区域内で宿泊者数が前年比減となった。宿泊者数が半減するなど大幅に減少した公園も複数存在する。
- 一方、秩父多摩甲斐国立公園では前年並みとなっており、首都圏在住者が近場旅行で訪れたと考えられる。

#### 2019年および2020年における各国立公園区域内の延べ宿泊者数(人)と前年比増減(%)

	公園名	2019年 (確報値)	2020年 (速報値)	前年比増減
1	利尻礼文サロベツ*	-	1	-
2	知床	12,361	11,227	▲ 9.2%
3	阿寒摩周	828,567	420,886	<b>▲</b> 49.2%
4	釧路湿原 <sup>*</sup>	966	-	-
5	大雪山	775,526	342,448	▲ 55.8%
6	支笏洞爺	3,631,085	1,641,860	▲ 54.8%
7	十和田八幡平	556,323	343,482	▲ 38.3%
8	三陸復興	123,375	96,091	▲ 22.1%
9	磐梯朝日	861,876	608,543	▲ 29.4%
10	日光	4,682,377	2,879,485	▲ 38.5%
11	尾瀬*	-	-	-
12	上信越高原	3,005,606	1,699,748	<b>▲</b> 43.4%
13	妙高戸隠連山	375,971	272,172	<b>▲</b> 27.6%
14	秩父多摩甲斐	146,480	147,729	0.9%
15	小笠原 <sup>*</sup>	-	_	_
16	富士箱根伊豆	11,370,294	5,927,883	<b>▲</b> 47.9%
17	中部山岳	1,033,421	471,592	▲ 54.4%

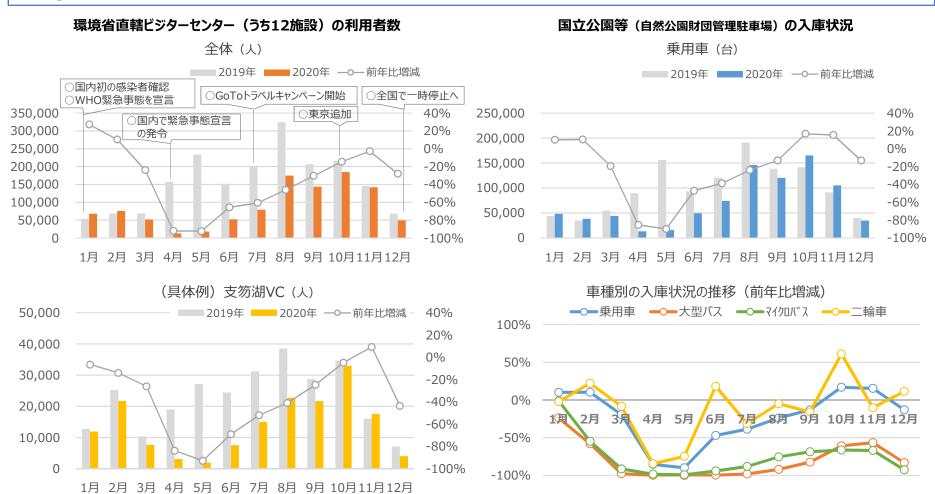
	公園名	2019年 (確報値)	2020年 (速報値)	前年比増減
18	白山	26,032	4,405	▲ 83.1%
19	南アルプス	21,845	5,330	<b>▲</b> 75.6%
20	伊勢志摩	2,966,324	2,137,598	▲ 27.9%
21	吉野熊野	686,928	409,061	▲ 40.5%
22	山陰海岸	855,922	596,820	▲ 30.3%
23	瀬戸内海	1,618,007	850,086	<b>▲</b> 47.5%
24	大山隠岐	334,875	153,242	▲ 54.2%
25	足摺宇和海	152,214	80,028	<b>▲</b> 47.4%
26	西海	65,268	31,135	▲ 52.3%
27	雲仙天草	460,911	286,575	▲ 37.8%
28	阿蘇くじゅう	1,248,665	608,927	▲ 51.2%
29	霧島錦江湾	691,811	380,778	<b>▲</b> 45.0%
30	屋久島	1,034	10,520	917.4%
31	奄美群島	14,616	13,380	▲ 8.5%
32	やんばる	72,611	89,139	22.8%
33	慶良間諸島	315,730	133,704	▲ 57.7%
34	西表石垣	505,801	364,219	▲ 28.0%

<sup>※</sup>この推計は、「宿泊旅行統計調査」(観光庁)のデータを利用し推計したもの。推計にあたっては宿泊旅行統計で用いられている母集団名簿の内、国立公園区域内に含まれている宿泊施設を抽出して実施した。 このため、特に国立公園区域内に存在する宿泊施設が少ない国立公園については、地域の宿泊実態との誤差が大きい可能性がある(白山国立公園、南アルプス国立公園、屋久島国立公園、など)。

<sup>\*「</sup>尾瀬国立公園」「小笠原国立公園」は公園区域内に対象となる宿泊施設が無いため、「利尻礼文サロベツ国立公園」「釧路湿原国立公園」は当該年の回収数が0のため、推計不可として扱った。

# 2020年のビジターセンター利用者数

- ・ ビジターセンター利用者は、2020年1月から5月にかけて減少。特に緊急事態宣言下の4月および5月に大幅減。
- ・ 駐車場 (自然公園財団管理運営) データでは、**乗用車は6月以降、大きく回復**。一方、大型バスやマイクロバスなどの**団体利用の回復は遅く**、8月以降徐々に回復したものの、もっとも回復した10~11月においても前年比5割減にとどまった。
- GoToトラベルキャンペーンの利用が進んだ11月には、ビジターセンター利用者数および乗用車台数は**前年並み以上に回 復し、全国の宿泊者数に比べて回復が進んだ。**コロナ禍で自然観光やドライブ旅行への関心が高まったことの表れと考えられる。



資料2

National Parks of Japan

# 国立公園満喫プロジェクトの取組状況と成果

# (まとめ) 各取組における指標の達成状況について

- 訪日外国人の利用者数は、2015年(約490万人)から2018年にかけて前年比10%以上と好調な伸びで推移し、2018年に約694万人、**2019年に約667万人まで増加**した。2020年は93万人 (1~3 月のみの数値) と新型コロナウイルスの影響を大きく受けることとなった。
- 質の指標について、滞在全体の満足度は、大変満足~やや満足の割合は96.5%。国立公園内での一人あたり旅行消費額は61,299円。宿泊日数は、国立公園内で1.3泊、周辺地域を含めて3.3泊 (いずれも2019年の結果)
- 各取組について29の指標を設定し、**24の指標で達成し、達成率は約83%**となった。また未達成5指標のうち4指標は、対目標値8割以上の達成率となり、各取組は大きく進展した。

#### ●国立公園の訪日外国人利用者数の推計結果

#### 単位:万人 前年比4%減 前年比16%增 800 前年比10%增 694 667 前年比11%增 600 600 546 490 400 4~12月 数値なし 200 1~3月 93 2015年 2016年 2017年 2018年 2019年 2020年

※2019年は韓国客の減少や利用者数の約3割を占める 中国の伸び率が下がり微減

#### ●各指標の達成状況 ※詳細は次ページ以降参照

達成	83%		利用拠点リニューアル、長寿命化、モデルコース、情報一元化、廃屋撤去、景観等計画策定、電線地中化等、通景伐採、人材育成、利用者負担、入域料、上質なホテル、ケブウンピックが連携者、官民連携施設、わバラヤルパートナー、二次交通、Facebookファン数・新エンゲージ、メント、公園外の取組、レンジャー数、成果共有、制度見直し、アンケート回収、改善事例
未達成	17%		_
	+	9割以上	コニバーサルデザイン(91%)、コンテンツ数(98%)
	未達成 一 の目標 8 達成率 —	8割以上	多言語化(88%)、省庁連携(80%)
	建以学 -	その他	国立公園ウェブサイトPV数

# 1.受入環境の整備 ①基盤整備

#### 施策の取組と成果

- 利用拠点の再整備により、景観の改善等が進み、ビューポイントを中心に**国** 立公園の上質化が進んだ。
- トイレの洋式化、案内標識等の多言語化、ビジターセンターへのWi-Fiの整備等が進み、**利用環境が向上した**。
- 休憩施設等へのカフェ設置やキャンプ場への民間導入、民間事業と協調した施設整備(阿蘇山上VC)が進み、サービスの質的向上が図られた。
- 他事業と連携したビジターセンターの整備(牡鹿半島VC、竜串VC)を進め、利用拠点としての機能が向上した。

(進捗率:利用拠点リニューアル 86%、多言語化 (ライティング) 83 %

、ビジターセンターへのWi-Fi整備95%) (全34公園直轄施設)

成果指標	実績値 (2018.8)	実績値 (2019.12)	実績値 (2020.12)	目標値
多言語化(ライティング) (直轄施設における対応施設数)	<b>1</b> 箇所 (2017年)	33箇所	<b>35箇所</b> (2020年)	<b>40</b> 施設 (2020年)
利用拠点のリニューアル (直轄事業で再整備を実施している集団施設地区 数)	52地区・ 24公園 (2017年)	63地区· 26公園 (2019年)	70地区· 27公園 (2020年)	80地区· 27公園 (2020年)
ユニバーサルデザイン (直轄ビジターセンター (69棟) の施設対応率)	<b>79</b> % (2017年)	81% (2019年 60/74ヵ所)	<b>82%</b> (2020年 62/76ヵ所)	約90 <sub>%</sub> (2020年)
長寿命化対策 (長寿命化計画策定)	0公園	14公園 (2019年)	<b>33公園</b> (2020年)	33公園

#### 最近の取組成果

【足摺宇和海国立公園】



高知県の水族館整備事業、土佐清水市のキャンプ場事業と連携して、電 **串ビジターセンターを整備**。地域の 観光拠点として観光コンシェルジュを配置し、周辺の自然やアクティビティ情報などを発信

#### 【三陸復興国立公園】



観光物産交流施設等と併せて、**牡鹿** 半島ビジターセンターを整備し、季節の見どころや周辺アクティビティ情報などを発信。牡鹿半島の観光拠点として活用

#### 【十和田八幡平国立公園】





網張ビジターセンターの展示を改修し、展示内容を5言語(日、英、簡体、繁体、韓)で解説するタッチモニターを設置。岩手山のジオラマにARで登山ルートを表示し多言語で紹介

#### その他の取組

これまでに、8公園では、ビジターセンターの改修8カ所、新築2カ所、展望地整備3カ所、トイレの 洋式化14カ所を実施

ほぼ全てのビジターセンター等に利用無料の公衆無線LAN (National Park Wi-Fi) を導入(当初0箇所→75箇所)

# 1.受入環境の整備 ②コンテンツの磨き上げ・受入体制強化

#### 施策の取組と成果

- 自然や暮らし、文化を生かした質の高い体験の提供や、滞在を延ば し消費単価や満足度向上につながるよう、国立公園ならではのコンテ ンツを充実
- ファムトリップ等によりコンテンツを磨き上げ、コンテンツ集2020には23 公園、294コンテンツ、63のモデルコースを掲載し目標をほぼ達成 (2019は17、2018は8公園)
- コンテンツ集を活用したプロモーション、国内外のOTA(オンライン・トラベル・エージェント)の掲載支援、ビジターセンターに予約機能を備えたデジタルサイネージの設置、野生動物を観察するツアー造成を支援
- 2020年度より、地場産品を活用したツアー造成支援や早朝・ナイトタイムのコンテンツ開発を開始

#### 最近の取組成果

#### ●野生動物観光の推進

【日本アルプスの野生動物観察(中部山岳)

高山帯の希少種である**ライチョウの観察ルールハンドブック**を作成。地元の山岳ガイドがハンドブックを活用し、乗鞍岳で2回のモニターツアーを実施。ツアーコンテンツ造成を図るとともに保護と利用の好循環の仕組みづくりを行政、専門家、観光事業者が連携して進めている。



#### 【野生生物保護センターの改修】

非公開であった既存の野生生物保護センターの施設(3箇所)を改修

**釧路湿原野生生物保護センタ**ーでは、怪我により野生 復帰できない希少種(オジロワシ・オオワシ)**を見学** できるよう、傷病個体収容施設を改修。**バックヤード ツアーを実施**し、効果的な利用の仕組みを構築



#### 成果指標 実績値 実績値 実績値 目標値 (2018.8)(2019.12)(2020.12)69 185 磨き 上げたコンテンツ数 294 300 (2018.6時点 コンテンツと二次交通を組み合わ 44 63 60コース せたお勧めモデルコース数 国立公園を含む地域コンテンツ情 10地域 10 10 報の一元化が進んだ地域数

#### ●コンテンツの拡充

#### 【十和田八幡平】





【中部山岳】



国立公園コンテンツ集について、先行8公園を含む23 公園のコンテンツに拡充。計294コンテンツ、63コースを掲載。OTA上で288名の予約(2月末時点)

# 1.受入環境の整備 ②コンテンツの磨き上げ・受入体制強化

●ナイトタイムコンテンツの開発(早朝含む) 【阿寒摩周】【支笏洞爺】 【十和田八幡平】 【三陸復興】【磐梯朝日】 【日光】 【富士箱根伊豆】 【上信越高原】 【伊勢志摩】 【大山隠岐】 【やんばる】 【西表石垣】

自然・文化・歴史を楽しめるナイトタイムコンテンツの新たな造成に向け、12公園及び国民保養温泉地にて取組を実施

【蔦沼の紅葉(十和田八幡平)】 【大山×星空の鑑賞&撮影ツアー(大山隠岐)】 【奥日光ナイトバスツアー(日光)】

展望デッキ上での混雑等について、完全予 約制及び協力金制度により利用者数の抑制 を行い、日の出時間帯の優れた自然景観の 提供体制を試験的に実施







(近年の状況)朝日に照らされた紅葉が美しい 蔦沼では人が押し寄せ、オーバーユースによる 満足度低下、湿地植生破壊の懸念等が発生



大山が目前に迫る標高1000mの絶景スポットまでの夜間のガイド付き軽登山と、参加者による大山と星空の写真撮影ができるツアーを造成。来年度から大山寺での宿泊と組み合わせた形で一般販売を開始予定

#### 【横山展望台早朝ヨガ(伊勢志摩)】

英虞湾を望む横山展望台にて早朝ヨガを 試験的に実施。参加者からは毎週・毎月 など定期的な開催を望む声があった。 マイカー規制区間のバスサカーはあるで、カキのバスササ生動、関連を見られている。では、アイカーのでは、アイカーができるが、アイカーが、





#### ●その他の取組

- 各国立公園の特徴・価値をビジュアル的にもわかりやすく整理した「**国立公園ストーリー集**」を作成し、地域関係者との共通認識を 深化。
- 8 + 3 公園を含めた計18公園のビジターセンター(33カ所)に予約機能を備えたデジタルサイネージ等を設置し、アクティビティ等の情報を一元的に**多言語で提供**

# 1.受入環境の整備 ③引き算の景観改善

#### 施策の取組と成果

- 廃屋撤去、無電柱化、通景伐採、建物外観修景等の実施により、**引き算の景観改善を実施**
- ・ 統一性を欠くエリア内の景観デザインの改善に向けた計画 策定、それに基づくまちなみ改善の修景等の整備事業により、集団施設地区をはじめとする国立公園の利用拠点において公共と民間が一体的に上質な滞在環境を創出
- 廃屋撤去等の目標値の件数に対しては、国際観光旅客 税を活用して新たな事業を開始し大幅に進捗した。

成果指標	実績値 (2018.8)	実績値 (2019.12)	実績値 (2020.12)	目標値
撤去廃屋数	<b>2</b> 件 (2016~2018.4)	5件	18件	12箇所 (2020年度)
景観デザインに関する計画策定数	4 箇所 (2016~2018.4)	5 箇所	31箇所	10箇所 (2020年度)
電線地中化など景観を阻害する施設の改善を行った地区数	5箇所 (2016~2018.4)	6 箇所	17箇所	9 箇所 (2020年度)
集中的な樹木の間引き、剪定による 眺望確保や景観向上	18箇所	25箇所	34箇所	32箇所 (2020年度)

#### 最近の取組成果

#### 【阿寒摩周】





川湯温泉では、上質化事業における直轄第1号の**廃屋撤去がR2 年10月に完了**し、拠点再生に向けた**キックオフイベントを実 施**。弟子屈町や民間による景観改善の取組も続々と進捗

- 【十和田八幡平】休屋では、直轄の上質化事業によるホテルの廃屋撤去に 着手するとともに、土産物店の外観修景を実施
- 【中部山岳】立山で旅館の廃屋撤去を行うとともに、4地区(平湯・白骨・ 沢渡・新穂高)において景観づくり講演会を実施し、南部地域の4地区に おいて今後の実践に向けて調整中

#### 【支笏洞爺】





R2年度に環境省直轄事業により、**支笏湖温泉地区の景観 改善のための電線地中化**を王子製紙・NTT等の協力で実施

#### <その他先行8公園をはじめとした廃屋等の撤去実績>

•大山隠岐

(大山寺参道の旅館等3件 H29・H30・R2、三瓶山スキー場施設 H30)

- ・ 日光 (旧ガソリンスタンド H30、土産物店 R2)
- ・十和田八幡平(見返峠レストハウス H30)
- ※R1,R2の上質化事業により、既述の川湯温泉、立山の他8箇所の廃屋撤去が完了

# 1.受入環境の整備 ④人材育成

#### 施策の取組と成果

- ガイドやコーディネーター等の養成、地域でのプログラム開発、 ツアーデスク等の受入体制、持続可能な体制づくりの強化 等を目的に、インバウンドを踏まえたキーマンとなる人材育成 の支援を行った。
- ・ また、キーマンを中心として地域での継続性・裾野拡大を重視して、地域の自主的な取り組みを支援した。その結果、 支援後も自主的にプログラム開発や体制づくりに取り組む地域が出てきている。

成果指標	実績値 (2019.1)	実績値 (2019.12)	実績値 (2020.12)	目標値
行動計画に基づき、人材育成 の裾野拡大などの自走化に向 けて自主的に取り組んでいる地 域数	19	30	41	30

#### 最近の取組成果

#### ●研修による成果

研修参加者が中心となり**新たなガイド組織を設立**。ホームページでの情報発信や学校団体ガイド時のコロナウイルス対策の方針策定等を実施。



ガイド組織のホームページ

- 人材育成支援事業への参加地域を募集し、 教材開発、オンラインでの集合研修、事前・ 事後のアドバイザー派遣を実施。
- 集合研修参加地域において成果目標達成に 向けた行動計画を策定。
- 研修参加者を中心とした、地域での自主的な取り組みを支援。
- 研修教材のデジタルアーカイブ化を進め、一般 公開することで取り組みの裾野を広げる。



研修教材のアーカイブページ

# 1.受入環境の整備 ⑤利用者負担による保全の仕組み作り

#### 施策の取組と成果

- 地方公共団体、地元事業者、保護団体等と連携し、国立 公園における利用者負担の仕組みづくりを積極的に拡大。
- 入域料の収受だけではなく、ツアー料金への上乗せ、施設利用料の収受、飲食物等の売り上げの一部還元等、多様な手法による取り組みを実施。
- 目標値を上回り、先行8公園やその他の公園で、利用が環境保全につながる仕組みづくりが広がっている。

#### 最近の取組成果

【中部山岳】



「Gift Norikura」民間カフェの売上げの一部を寄付し、乗鞍高原の環境保全の活動に活用。R3は周辺登山道の整備に充てることを予定。

#### 【霧島錦江湾】



錦江湾奥のクロツラ ヘラサギ調査体験ツ アーの売り上げの一 部をクロツラヘラサギ の保護活動に活用。 R3からe-bikeで周 遊するコースにて本 格運用開始



ツアーの様子

成果指標	実績値 (2018.8)	実績値 (2019.12)	実績値 (2020.12)	目標値
利用者負担の新規仕組みの件数 (入域料除く)	5 (2016~2018.7)	11	17	<b>15</b> (2020年)
入域料の新規仕組みの実施数	2 (2016~2018.4)	3	5	増加

#### その他の取組

- 吉野熊野では、R2.4から大杉谷登山道における入山協力金(1,000円)の収受を開始。安全対策及び環境保全に還元する。
- 中部山岳の上高地周辺では、山小屋・野営場の宿泊料の一部を登山道維持に関する費用に充てる仕組みの導入を検討。
- 阿寒摩周、日光、中部山岳、伊勢志摩、大山 隠岐、阿蘇くじゅう、慶良間諸島、屋久島、西表 石垣において入域料、ツアー料金や設備等利用 料、飲食物等の売り上げの一部を保全・管理に 還元する等の取組を導入済み。
- 妙高戸隠連山(妙高山、火打山)では、R2.7から地域自然資産法に基づく入域料の導入開始。

妙高山、火打山の支払場所の様子

# 2.民間活用によるサービス向上 ①多様な宿泊サービスの提供

#### 施策の取組と成果

- 分譲型ホテル等を宿舎事業として認可する規制緩和を実施する等、民間参入の促進に向けた制度を整備。国立公園内の上質なホテル・旅館の進出の機運拡大
- 民間事業者と連携しこれまでに16公園でグランピングを実施。自然景観や文化、地域の食材を使った料理や地域の自然や文化を活用したアクティビティなどと組み合わせ、民間事業者の主体的な取組の拡大に向けて支援

成果指標	実績値 (2018.8)	実績値 (2019.12)	実績値 (2020.12)	目標値
国立公園内の上質なホテル・ 旅館の数(国際的格付け機 関に評価された施設数) ※2018年と比較して評価対象エリアが拡大し たため、2018年時点の資料から実績値を修正	<b>45</b> 件 (2018年)	46件	<b>46</b> 件	増加
国立公園グランピング連携事業 者数	2社	6社	<b>17</b> 社	増加

#### 最近の取組成果

#### ●グランピングの推進

環境省の補助事業により**アクティビティと宿泊** がセットで楽しめるグランピングの立ち上げやトライアル実施等を支援

【尾瀬·日光】【富士箱根伊豆】 【伊勢志摩】【大山隠岐】【西表石垣】





補助事業を活用した JR西日本の「せとうち グランピング I

無人島のハンモックで の夕日観賞、ビーチ3 ガ、地産品の食事な どが楽しめる

【瀬戸内】

#### ● 上質なホテル・旅館等の進出



【伊勢志摩】

写真:アマネム

#### その他の取組

- ・ 訪日旅行者の長期滞在と消費拡大に向け、世界レベルの宿泊施設の誘致や上質な観光コンテンツ整備等の戦略を検討する観光庁の「上質なインバウンド観光サービス創出に向けた観光戦略検討委員会」及び「上質な観光地整備実行チーム」に参画。専門家による地方の現地調査に協力
- ・ 今年度、瀬戸内海や中部山岳において、 新たな民間事業者と連携したグランピン グを実施。阿寒摩周では、今まで環境省 事業として実施していたが、今年度は民間事業者が地域事業者等と連携して独 自事業として実施

分譲型ホテル等を公園事業として認可する規制 緩和を踏まえ、伊勢志摩国立公園のアマネムを このタイプの宿舎第1号として認可(R2.3)

# 2.民間活用によるサービス向上 ②公共施設の民間開放

#### 施策の取組と成果

- ビジターセンター等の公共施設においてカフェ等を導入し、民 間によるサービス、利用者の利便性、施設の魅力を向上。 9箇所の公共施設にカフェ等の民間事業者を導入済み。 エリアの年間利用者数の増加にも貢献。
- 施設の整備・運営を官民連携で行い、民間事業者の創意 工夫を取り入れながら、新たな方向性を各現場で模索し、 サービスの質の向上を図った。

成果指標	実績値 (2018.8)	実績値 (2019.12)	実績値 (2020.12)	目標値
新たに民間事業者を 導入した公共施設数	<b>1</b> 箇所 (2016~2018.4)	6箇所	9箇所	<b>7箇所</b> (2020年度)

#### 最近の取組成果

#### 【慶良間諸島】



座間味港ターミナルの隣接地に**新ビジ** ターセンター「青のゆくる館」の整備が 概ね完了。公募により(一社)座間味村 観光協会が施設の管理運営事業者に決定。 カフェ・物販部分を含めた民間による一 体的な管理運営を行い、快適性や利便性 の向上を目指す。R3.5オープン予定。

#### 【阿蘇くじゅう】



世界的に有名な和太鼓アーティスト 「DRUMTAO」が管理経営にかかわる舞 台・休憩施設「草原の音楽舞台TAOの 丘」を竹田市が再整備、R2.9より民間劇 団が運営、毎週公演を実施

#### その他の取組

- 阿寒摩周の既存キャンプ場の運営につ いて、自然公園財団から民間企業へ変 更しサービスを向上。 R2.5より、北海道、弟子屈町の公設 キャンプ場も含めてキャンプ場運営を (株)Recampに委託。
- 環境省所管地の十地・建物の使用許 可期間の改定、カフェ等の導入に関する 留意点等を整理したガイドライン作成、 野営場設計・施丁・運営の一体契約に 関する留意点の整理を実施済み。
- 阿寒摩周、伊勢志摩、慶良間諸島、 日光において、公共施設にカフェを導入 済み。

# 2.民間活用によるサービス向上 ③民間事業者との連携

#### 施策の取組と成果

- ・ オフィシャルパートナーシップを105社と締結(2025年までの規約に更新)。企業と環境省が相互に協力し、機内誌・ウェブ・施設等でのPR、キャッシュレス化等受入環境整備、旅行商品の造成等の様々な取組を展開。
- ・ 主要空港・駅等から国立公園への公共交通機関によるアクセスや拠点間の周遊など、関係省庁・自治体・民間事業者と連携して二次交通の課題改善を推進。複数の公園でMaasの実証事業が行われているほか、公園内の移動・アクティビティを兼ねたE-bikeも活用を推進。

成果指標	実績値 (2018.8)	実績値 (2019.12)	実績値 (2021.3)	目標値
オフィシャルパートナー数	<b>49</b> (2018 年)	75	105	増加
二次交通に関する新規取組数 (うち、自立的・継続的な取組数*) ※補助金等を受けずに運営しているもの	14 (8) (2016~ 2018.3)	37 (22) (2016~ 2019.12)	<b>42</b> (21) (2016~ 2020.12)	増加





島根半島西部地域を含む出雲市内の名所を案内する周遊観光タクシー「うさぎ号」を運行開始(R2.9~) 【大山隠岐】

#### 最近の取組成果

◆オフィシャルパートナーシップ企業の取組事例



オフィシャルパートナー 企業と連携した取組 の推進を目的に、オフィシャルパートナー企業と国立公園の現地 職員とのオンライン意見交換会を実施 (全2回)



コロナ禍で、イベント関係は中止・延期などが見られたが、国際番組での放送等魅力発信が主な取組として見受けられた。

●二次交通・アクセス改善



1次補正予算、E-bikeを活用したツアー開発やレンタサイクルのサービス導入など公園内の移動性向上とアクティビティ充実の両面を支援 【阿寒摩周、中部山岳、富士箱根伊豆、大山隠岐、阿蘇くじゅう、霧島錦江湾など多数】



交通の利用拠点である**平湯温泉バスターミナルをリニューアル**し利用環境を向上。待合所の展示では平湯の歴史・文化を紹介(濃飛乗合自動車R2.4)【中部山岳】

# 3.プロモーション

#### 施策の取組と成果

- 日本の観光情報の発信は、日本政府観光局が国・地域・ 民間等と連携しつつ実施。国立公園情報についても、 JNTOサイト内に、国立公園サイト(環境省管理)を設置し、 予約まで一気通貫で可能に。
- さらに、メディア・SNS等を活用し、**外国人向けプロモーションを実施し、日本の国立公園サイトへ誘引**し、実際に国立公園に足を運んでもらうため、国立公園の認知度を向上させる。

成果指標	実績値 (2018.8)	実績値 (2020.1)	実績値 (2021.1)	目標値
公式Facebookファン数	56,822 (2018.5)	110,473	177,618	150,000 (2020年)
公式Facebook新エンゲージメント率 (投稿を見た人に占めるいいね!等の積極的反応を行った人の割合)	<b>7.1%</b> (2018.6)	9.5%	10.88%	毎月平均 5 % 以上
国立公園ウェブサイトPV数	- (2019構築予定)	185,278 (2019.4~ 2020.1)	159,920 (2020.4~ 2021.1)	増加

#### 最近の取組成果

- 新型コロナウィルス感染症の影響により、海外向けの誘客 促進を狙った各種広告配信や海外メディアを使った記事 配信等は見送り
- 国立公園ウェブサイトへの広告誘導等を実施していない中でも、自然流入として一定数を確保しており、国立公園コンテンツへの関心の高さが伺える
- コロナ収束後の旅の目的地として選んでもらえるように、 SNSを通じて国立公園の魅力発信を日々実施
- コロナ後のインバウンドの回復を見据えつつ、落ち込んだ国内利用客に向けたプロモーションも、状況を見ながら展開

#### ●海外向け



SNSにより国立 公園の魅力を日々 発信しながら、新 型コロナウイルス 感染症情報も定期 的に発信(JNTO リンク)



#### ●国内向け



#### ツーリズムEXPOin沖縄

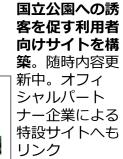
(10/29~11/1) において国立公園の情報発信および商談を実施。4日間でイベント全体で2万人を超える来場

国立科学博物館に おいて日本博事業 により実施した 「国立公園展」に おいて、期間中、 約33,000人の入 場者数(8月末~ 11月末)



11月より、国立 公園の巡回利用を 促進する「**日本の 国立公園めぐりス タンプラリー**」 (アプリ)を開始

GOTO 巨立公園





観光庁との連携により、**Go To トラベル** 公式サイトに国立公 **園特設サイトを開設** 

# 4.関係省庁や地域との連携

#### 施策の取組と成果

- 関係省庁連携により観光ビジョンに基づく各施策をさらに効果的に推進するとともに、地域のニーズに応じた適切な交付金等の支援制度の活用によって、公園区域外も含めて地域で実施する事業との連携も図った。
- 地域協議会の開催及び広域連携DMO等との連携によって、地域一体となった取組を推進した。

成果指標	実績値 (2018.8)	実績値 (2019.12)	実績値 (2020.12)	目標値
省庁連携による取組数	<b>32</b>	<b>23</b>	<b>32</b>	<b>40</b>
(交付金活用を含む)	(2017年度)	(2019年度)	(2020年度)	(2020年度)
先行8公園における公園外の	<b>41</b>	<b>71</b>	<b>54</b>	<b>50</b>
取組数	(2017年度)	(2019年度)	(2020年度)	(2020年度)



乗鞍高原の自然等を活かしたトレイル魅力化や企業・個人のニーズに対応できるワーケーションプログラムの作成等を、環境省・観光庁補助金等を活用し、関係者連携で実施【のりくら観光協会等】

#### 最近の取組成果

(他省庁の交付金等の活用事例)

#### 【日光】



低炭素・循環型の公園づくりに向け、国土交通省の補助金により奥日光において低公害バスの車両を購入(ハイブリッドバスからEVバスへ更新)【栃木県】

#### 【伊勢志摩】



ワーケーションの推進のため、内閣府や 総務省の交付金を活用し、プロモーションや県内受入施設とのマッチング、自然 体験施設の魅力発信等を実施【三重県】

#### その他の取り組み

- ・ ㈱地域経済活性化支援機構の「観光 遺産産業化ファンド」により、民・官・公・ 金の連携で国立公園を地域の観光資源 として磨き上げる取組について、北海道 東エリア(阿寒摩周)、栃木エリア (日光)において、具体に検討中。また 伊勢志摩国立公園区域において、三重 県、地銀を中心として連携協定が11月 に締結され、各種取組が進められている。
- 観光庁や文化庁、内閣府等の交付金 等を活用して、プロモーションやガイド育成、 マーケティング戦略基盤整備等の取組を 地域で実施したほか、運輸局が主体となり二次交通改善の実証事業等を実施。

# 5.体制強化

#### 施策の取組と成果

- 14カ所の国立公園において、公園を統括する「国立公園管理事務所」を新規設置。所長の着任、保護管理と利用の企画官が増員され、プロジェクト実施の体制強化により、関係機関との連携推進、プロジェクトの各種取組が実現。
- 現地レンジャー数も増員して目標を達成し、管理体制の 強化が図られた。
- 地方自治体や観光協会等の体制が強化され、地域の各 種取組が推進。

#### 最近の取組成果

• 2020年度には、訪日外国人利用者の多い、大雪山国立公園、上信越高原国立公園に国立公園管理事務所を設置。これまでに、先行8公園(慶良間諸島除く)、準ずる3公園、吉野熊野国立公園、奄美群島国立公園と合わせて14箇所の設置となった。所長の配置によるハイレベルな調整の実施により取組が飛躍。

• 民間経験者の利用企画官の新規採用により、経験を生かしたコンテンツ造成や情報発信を実施。

上信却高原国立公園 お智高原 ・ ブイト	
**************************************	元 ヤ
	ラを3
	3

志賀高原での夜間コンテンツ充実やアフタースキーの充実に向け、地元との連携によりナイトシャトルバスを冬季に試験運行。13日間で314名が利用

【上信越高原】

成果指標	実績値 (2018.8)	実績値 (2019.12)	実績値 (2020.12)	目標値	
現地レンジャー数	150名	<b>177名</b>	<b>202名</b>	200名	
	(2018年度)	(2019年度)	(2020年度)	(2020年度)	







大雪山国立公園ビジョンの策定 (R2.6)【大雪山】

※所長の配置によるハイレベルな調整によりコロナ禍の困難な状況においても合意形成





ルールとマナーのご当地版普及啓発チ ラシを利用企画官がデザイン・作成



大雪山国立公園協力金取組方針の検討開始 (R2.11) 【大雪山】

※利用企画官の民間経験を活かし、国立公園の管理運営への利用者の参加という新たな発想で協力金の議論を開始。 14

# 6.全国展開

#### 施策の取組と成果

- ・ 滞在期間の延伸、消費額の増加等につながる国立公園をテーマにした周遊の促進や自然体験コンテンツの上質化・磨き上げといった取組を支援する事業を7件採択し、支援を開始
- 国際観光旅客税等の財源を活用し、先行8公園での取組事例を全国的に展開するよう自治体・民間事業者に支援を 実施(多言語解説やグランピング、コンテンツ充実等)。
- 有識者の検討会による提言、中央環境審議会による答申を経て、自然公園法の一部を改正する法律案を閣議決定した。自然体験型コンテンツの促進や利用拠点の再生・上質化のため、地域の主体的な取り組みを促す仕組みを新たに設け、「保護と利用の好循環」の実現を目指す。

成果指標	実績値 (2018.8)	実績値 (2019.12)	実績値 (2020.12)	目標値
先行8公園の成果を共 有するツール制作	<b>1</b> 件 (2017年度)	<b>2</b> 件 (~2019.12)	<b>4件</b> (~2020年度)	<b>3</b> 件 (2020年度)
自然公園法等に関する 制度見直し	使用許可期 間の延長 (3年→10年) (2017年度)	自然公園制 度のあり方 検討開始	自然公園 法改正案 の閣議決 定	制度見直し (2020年度)

#### ●自然公園制度の見直し (別紙参照)

- R2.5 「今後の自然公園制度のあり方に関する提言」とりまとめ
- R3.1 「自然公園法の施行状況等を踏まえた今後講ずべき 必要な措置について」中央環境審議会答申
- R3.3 自然公園法の一部を改正する法律案の閣議決定

#### 最近の取組成果

●先進的インバウンドプロジェクト支援事業の実施

7つの国立公園で他の国立公園においても展開可能となるようなプロジェクトを実施

# 5 【上信越高原】 ① 「上信越高原国立公園志賀高原地域 誘客促進事業」 ① ⑥【伊勢志摩】 「伊勢志摩国立公園におけるONSEN・ガストロノミーツーリズムの推進」 ⑦【霧島錦江湾・屋久島・奄美群島】 「霧島錦江湾国立公園を中心とする 鹿児島の国立公園周遊促進事業」

#### 【阿寒摩周】

「摩周・屈斜路エリア冬期 エコツアー開発事業」

#### 【支笏洞爺】

「支笏洞爺国立公園支笏湖地域における 『持続可能な観光・まちづくり』 |

#### 【日光】

「奥日光地域ネイチャーガイド コンテンツ開発事業 | 等

#### 【富士箱根伊豆】

Best of the Fuji 富士山ラグジュアリーツーリズム企画推進事業

#### ●事例集の作成



プロジェクトの代表的な成果事例をまとめた事例集を2021年3月に作成し、他の公園等に共有予定

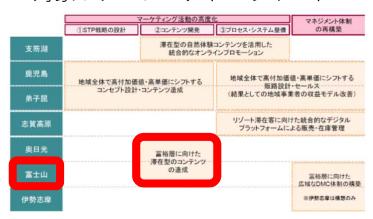
# 6.全国展開

#### (取組例) 先進的インバウンドプロジェクト支援事業

【富士山ラグジュアリーツーリズム・滞在型ツアープラン】

- 富士山では、富豪層に向けた長期滞在型のコンテンツ造成を実施。
- ・ 富士山周辺の**自治体・観光事業者によるラグジュアリーコンソーシアム(広域 DMCの設立を目指す準備組織)を設立**したところであり、ブランディングやマーケティングの連携を今後図ることとしている。
- 欧米のラグジュアリートラベルの専門家を招聘し、コンソーシアムにおいて整理した内容を基に、ファムトリップを実施したところであり、広域で推進する富豪層向け滞在型ツアープランを造成。
- ラグジュアリートラベル向けのお土産コンテンツも開発中で、世界の富豪層市場 に存在感を発揮できるようなPR活動を引き続き行う予定。

#### <対象7プロジェクトのポイント>









# 7.新たな利用の提案(ワーケーションの推進)

#### 施策の取組と成果

- 国立公園等で「遊び、働く」という新たなライフスタイルを示し、長期滞在の実現による地域経済の下支えや観光地の活性化 に寄与するため、2020年4月の緊急経済対策において、国立公園等でのワーケーションの実施や受入れ環境の整備に対す る補助制度を創設した。
- 各地の事業者や関係団体が行うWi-Fi等の整備やモデルツアーの実施等、ワーケーション参加者向けに提供する自然体験型のツアー・イベントの企画実施の取組を合計270件程度支援している。
- 2020年12月の総合経済対策においても、引き続きワーケーションに関する補助制度の実施を予定。

#### 最近の取組成果





【阿寒摩周】

国立公園内のホテルにてWiFi 環境や備品等の整備を行い、ア クティビティと連携したワーケーショ ンを展開(鶴雅リゾート)





【磐梯朝日】

キャンプ場での**ワーケーション キャンプの展開**と、キャンプ参加 者向けのアクティビティの開発 (休暇村協会、スペースキー)





【妙高戸隠連山】

ワーケーション施設に改装。アクティビティの一環として、外来種駆除作業。仕事×休暇×地域貢献のCSRワーケーションSTAYを開発(戸隠キャンプ場)



【吉野熊野】

木造校舎を活用したワーケーションと、e-bikeを活用した国立公園内のサイクルツーリズムの造成(秋津野ガルテン)

#### その他の取り組み

- 各地で取り組んでいるワーケーションの取り組みを取りまとめ、国内外向けのプロモーションを実施した。
- 2021年度は、国際観光旅客税財源を活用し、ワーケーションを目的とした既存施設のリノベーションやコンテンツ造成についても支援を予定。

# 8. 国立公園の脱炭素化に向けた取組事例

- ハード(利用拠点)及びソフト(自然体験)の両面で需要側における脱炭素化を推進
- 脱炭素化に取り組むことによって、公園の魅力向上による保護と利用の好循環を推進するとともに、レジリ エンスの強化による安心・安全な暮らしを実現

#### ホテル・レジャー施設

- 温泉熱による発電、ホテルの給湯・暖房や駐車場・道路の融雪等 への熱利用を実施
- 公園内のホテルの空調・給湯設備等の省エネ改修やスキー場のリ フトの省エネ化を実施

温泉熱によるバイナリー発電(磐梯朝日)



#### 体験型ツアー等のコンテンツ

• 大山隠岐NP、中部山岳NP、霧島錦汀湾NP等においてE-bike を活用した国立公園の自然を満喫できるツアーを提供

E-bikeを活用した島の周遊観光サービス(大山隠岐・隠岐諸島)





#### 公園内や利用拠点間のモビリティ

- マイカー規制区間において、富士山の3路線でEV・FCV通行可 能の優遇措置を実施中
- 15地区以上でEVバス(尾瀬・水上・日光等)を含む低公害車

(ハイブリッドやCNG等)を導入

環境配慮型·観光MaaS(日光)



• 山陰海岸NP、大山隠岐NP等に おいてグリーンスローモビリティを導 入

た検討着手(2020年10月)

#### ビジターセンター等の環境省直轄施設

- 36箇所のビジターセンターへ太陽光パネルを設置。令和3年度よ り直轄施設の再工ネ電力調達を推進。
- 環境省直轄ビジターセンター等全22箇所に設置している自動販 売機におけるペットボトル販売を今年度で中止

ビジターセンターへの太陽光導入(支笏洞爺)



国・都道府県が保護管理を担う国立公園・国定公園において、**地方自治体や関係事業者等の地域の 主体的な取組を促す仕組み**を新たに設け、保護のみならず**利用面での施策を強化**し、「<mark>保護と利用の</mark> **好循環**」(自然を保護しつつ活用することで地域の資源としての価値を向上)を実現するものです。

#### ■ 背黒

- O 地域の過疎化が進む一方、コロナ禍で自然や健康への関心が高まる中で、**我が国を代表する優れた自然の風景地である国立公園・国定公園**(以下「国立公園等」という。)は、国内外の多くの人々をひきつける観光地などとして、**地域社会にとって重要な資源**となっている。
- O その自然の価値を活かし、地域活性化に資する**滞在型の自然観光**を推進するためには、**魅力的な自然体験アクティビティの提供や旅館街等の上質な街並みづくり、認知度の向上が必要**であるが、それが十分にできていない。

#### ■ 主な改正内容

#### 1. 地域主体の自然体験アクティビティ促進の法定化・手続の簡素化

- 公園計画において、従来の利用施設のハード整備に加え、新たに自然体験アクティビティの促進を位置づけ、市町村やガイド事業者等から成る協議会を設け、自然体験活動促進計画を作成。環境大臣・都道府県知事の認定を受けた場合には、計画に記載された事業の実施に必要な許可を不要とする。
- これにより、計画に基づく**魅力的な自然体験アクティビティの開発・提供、ルール化**等の関係者が一体となった取組を促し、**旅行者の多様なニーズに応え、長期滞在につながる国立公園等の楽しみ方を** 提供。

#### 2. 地域主体の利用拠点整備の法定化・手続の簡素化

- 公園利用の拠点となる旅館街等の街並みを整備するため、市町村や旅館事業者等から成る協議会を設け、**利用拠点整備改善計画**を作成。環境大臣・都道府県知事の認定を受けた場合には、計画に記載された事業の実施に必要な許認可を不要等とする。
- これにより、計画に基づく**廃屋の撤去、機能充実、景観デザインの統一など**、関係者が一体となった **自然と調和した街並みづくり**を促し、**国立公園等における魅力的な滞在環境を整備**。

#### 3. 国立公園等の保全管理の充実

 ■ 国立公園等の国内外へのプロモーションの促進、クマ・サルなど野生動物の餌付け規制による人身被 害等の予防、公園事業の譲渡による公園事業者の地位の承継に関する規定の整備、公園管理団体の業 務の見直しによる指定の促進、特別地域等における行為規制の違反に係る罰則の引上げ等の措置を講 じる。
 <改正法の施行期日:公布の日から1年以内で政令で定める日>

#### 自然体験活動促進計画のイメージ

望ましい自然体験アクティビティの提供・開発促進、利用者の受入れ体制整備、上質な自然体験の場の確保、適正利用のためのルールの策定等





自然を満喫できる楽しみ方の提供

#### 利用拠点整備改善計画のイメージ

集団施設地区など利用拠点の面的な再生・上質化のため 廃屋の撤去やその場所への新たな投資、利用者目線の機 能充実、景観デザインの統一、電線の地中化等





自然と調和した滞在環境の整備





【令和3年度予算(案) 15,950百万円( 17,871百万円)】 【令和2年度3次補正予算(案) 2,993百万円】

#### 世界水準の「ナショナルパーク」を実現し、国立公園の保護と利用の好循環により、地域活性化を図ります

#### 1. 事業目的

- ○日本の国立公園のブランド力を高め、国内外の誘客を促進。利用者数だけでなく、滞在時間を延ばし、自然を満喫 できる上質なツーリズムを実現。
- ○地域の様々な主体が協働し、地域の経済社会を活性化させ、自然環境の保全へ再投資される好循環を生み出す。

#### 2. 事業内容

\*:国際観光旅客税を活用した事業 \*\*:R2年度3次補正事業

2016年に政府がとりまとめた「明日の日本を支える観光ビジョン」の柱の一つとして 国立公園が位置づけられ、国立公園訪日外国人利用者数は2019年に約667万人まで増加。しかし、2020年に新型コロナウイルス感染症の影響により国内外の観光客が大幅 に減少し、国立公園の観光地では大きな打撃が生じている。これを踏まえ、国内外の 利用者の復活に向け、受入環境整備やワーケーション等の新たな利用推進を図る。あ わせて、国民公園の魅力向上を図る。

- ・**国立公園・温泉地等での滞在型ツアー・ワーケーション推進\*\*:** ツアー等の企画・ 実施、Wi-Fi等の環境整備支援、国内外向けプロモーション等
- ・滞在環境の上質化/多言語化\*: 廃屋撤去等の景観改善、多言語解説の整備・充実等
- ・滞在型コンテンツの創出\*:グランピング等のコンテンツの造成・提供体制整備等
- ・基盤的な利用施設の整備/長寿命化: ビジターセンター・登山道の再整備、デジタル展示\*等
- ・受入環境・体制の向上/山小屋支援:自治体・民間団体等の連携促進、利用者負担 による保全の仕組みづくり、旅行博等への出展等/山小屋施設改修支援等
- ・新宿御苑や京都御苑の魅力向上\*: コワーキングスペース設置、国立公園等環境施策のPR等 3. 事業スキーム

■事業形態 請負事業/交付金/補助金

■請負先 民間事業者・団体/都道府県・市町村

■実施期間 平成28年度~

#### 4. 事業イメージ



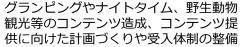




廃屋撤去跡地の新たな民間事業導入、無電柱化等の 景観改善、ワーケーション向けの改修・機能転換

ツアー等の造成支援







Uni-voiceコードによる多言語解説



ビジターセンター・展望台等の利用施設 の整備やデジタル展示の導入



新宿御苑の既存休憩施設の 改修後(イメージ)

お問合せ先: 環境省自然環境局総務課:03-5521-8672 /国立公園課:03-5521-8277 /国立公園利用推進室:03-5521-8271

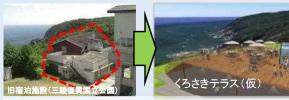
/自然環境整備課:03-5521-8280/野生生物課:03-5521-8282

#### 国立公園のインバウンドに向けた環境整備

#### 国立公園の磨き上げ

#### 利用拠点の滞在環境の上質化

- 外国人旅行者の満足度向上、長期滞在促進のため、
- ・地域で策定する利用拠点計画に基づき、廃屋撤去、既存 施設のリノベーション、まちなみ改善等、利用拠点の面的 な再生の推進や核心的な景観地の利用施設改修を支援
- ウィズコロナ、ポストコロナの新しい時代にふさわしい。 「3密」を避けられる国立公園ならではの滞在環境を実現 する、ワーケーション受入事業支援を新たに実施
- また、拠点内の面的景観や山や湖への眺望景観の改善のた めの無電柱化や、駐車場の緑地化、通景伐採などの引き算 の景観改善に対する支援を新たに実施



廃屋撤去し跡地に新たな民間事業導入、景観整備





国立公園における無電柱化(イメージ)

#### 滞在型コンテンツの創出

- 訪日外国人の旅行消費額や延べ宿泊 者数の増加に向けた自然体験コンテ ンツの整備・展開
- 地域のテーマやストーリーを踏まえたコンテ ンツを磨き上げ、計画づくりと情報の一 元的な提供等、地域一体となった受 入れ体制の整備等







交通の改善等でコンテンツ 間をつなぐことによる更なる 滞在時間や満足度向上 ・地域で統一的な自然、歴史、 文化の解説等によるブラン ディング など

#### 効果的なコンテンツ提供の検討 コンテンツ提供体制の整備

・複数コンテンツを効果的に提供するため の受入れ体制整備 ・地域のテーマやストーリーを踏まえたコ ンテンツの統一的なブランディング



#### 多言語解説の整備・充実

・国立公園、国定公園等の案内板、その他各種関係コン テンツ等について、ICTなども活用し、英語・中国語 ・韓国語等の多言語にて、外国人目線で分かりやすく 魅力的な多様な解説整備をエリア一帯で促進





#### 国立公園の利用促進

- 自然のメカニズムを解りやすく解説するデジタル展示
- 国立公園の他地域や近隣の他の国立公園へ誘導するため のデジタル展示



#### 観光庁(環境省):4.962百万円

#### 国民公園の魅力向上

#### 新宿御苑における取り組み

• 新宿御苑の既存の休憩施設(中央休憩所等)を 改修し、ビジネスユース需要に対応するための全 天候対応型コワーキングスペースの設置



中央休憩所改修後(イメージ)

国立公園等の滞在型コンテ ンツやエコツーリズム等の他、 環境施策をPRする最新のデジ タルコンテンツを整備し情報 発信するともに、日本の各地 域への来訪意欲を促進する





【コンテンツイメージ】

#### 京都御苑における取り組み

• 京都御苑に関連する皇室や公家などの長い歴 史に関する文化資源の蓄積がまだ不十分なため、 アーカイブ構築を行う

アーカイブの活用イメージ



#### 国立公園・温泉地等での滞在型ツアー・ワーケーション推進事業

【令和2年度3次補正予算(案) 2,993百万円



<参考:令和2年度補正予算3,000百万円(国立公園等への誘客・ワーケーションの推進と収束までの間の地域の雇用の維持・確保)>

#### 国立公園等での誘客やワーケーションの推進によりライフスタイル変革と地域活性化を図ります。

#### 1. 事業目的

- ①国立公園等で「遊び、働く」という健康でサステナブルなライフスタイルを推進し、地方創生に貢献。
- ②感染症対策を徹底した上で、国立公園、国民保養温泉地等において魅力的な冬期・春期のツアー等やワーケーションを実施することで、新型コロナウイルス感染拡大により減退した公園利用の反転攻勢と地域経済の再活性を図る。

#### 2. 事業内容

新型コロナウイルスにより、国立・国定公園及び国民保養温泉地では、観光事業者等に甚大な影響が出ている。一方、自然体験、サステナビリティ、健康等への関心が高まっており、国立公園等は大きなポテンシャルを有している。

- ①国立・国定公園での滞在型ツアーの推進 地域一体となった自然体験型のツアー等の企画・実施・準備、海岸清掃・修 景伐採等の環境整備、感染症対策、e-bike利用等による脱炭素化等を支援。
- ②国立・国定公園、温泉地でのワーケーションの推進地域一体となったワーケーションの企画・実施、Wi-Fi等の環境整備、パーテーションやCO2濃度センサー設置等の感染症対策、e-bike利用等による脱炭素化等を支援。
- ③国内外向けプロモーション 国立公園等の魅力を訴求するプロモーション等を実施。

#### 3. 事業スキーム

- ■事業形態 間接補助事業(定額、1/2、2/3)、請負事業
- ■補助対象 地方公共団体・民間事業者(山小屋等)・団体・協議会等
- ■実施期間 令和2年度

#### 4. 事業イメージ



・自然体験、サスティナビリティ、健康等への関心が高まっており、それを踏まえたツアー等の造成を支援



・感染症対策を徹底した温泉 宿等のワークスペースで健康 かつクリエイティブに働ける ワーケーションを推進



・各地域で滞在型ツアーや ワーケーションを推進し、国 立公園等の魅力とともにプロ モーション

お問合せ先: 自然環境局 国立公園課 電話:03-5521-8277/国立公園利用推進室 電話:03-5521-8271

国内利用者がターゲット・目標に加わったことを踏まえて、国内利用者数に関する指標について検討を実施。

指標候補での	データ候補	特徴	留意事項
宿泊者数 (公園区域内)	観光庁「宿泊旅行 統計調査」	<ul><li>・国立公園区域内に含まれている宿泊施設の訪日外国人宿泊者数を推計</li><li>・日本人、外国人の区別可</li></ul>	公園によっては宿泊拠点が 公園外となる
宿泊者数 (関係市町村)	観光庁「宿泊旅行 統計調査」	<ul><li>・公園区域外に宿泊の拠点がある公園や、関係市町村と連携した取組に対応</li><li>・日本人、外国人の区別可</li></ul>	公園によっては都市部も含まれるため、全体数値としては適切ではない 宿泊拠点が公園外となる公園で指標として活用可能
利用者数	環境省「自然公園 等利用者数調」	・昭和25年から現在までの利用者数を都道府県からの報告に基づき公園別に集計・日本人、外国人の区別なし	公表時期が翌々年のため、 プロジェクトの指標として 使用が難しい
利用者数	位置情報ビッグ データ	・日帰りを含む利用者数の把 握が可能 ・日本人、外国人の区別可	コストが高い 電波状況の影響を受ける

#### 検討の結果、

#### ・国立公園内宿泊者数(宿泊旅行統計調査を用いた推計)

【補足】利用者数(位置情報ビッグデータを用いた推計)※箇所を限定、隔年等頻度を検討を国内利用者数に関する指標として用いることを想定。

※参考として、国立公園の関係市町村単位での宿泊者数推計(日・外)も実施予定。

なお、**質の指標(満足度、旅行消費額等)も実施**する。

# 国立公園区域内延べ宿泊者数(宿泊旅行統計調査を用いた推計)

#### 日本人

- 2019年の国立公園区域内における日本人延べ宿泊者数は3,205万人泊と推計。前年と比較して96万人泊減 (2.9%減)。
- 国立公園区域内における日本人延べ宿泊者数は、2015年から2017年にかけて減少、2018年に増加したものの2019年に再び減少に転じた。この4年間を通じて国立公園日本人延べ宿泊者数は2015年より低い値で推移した。

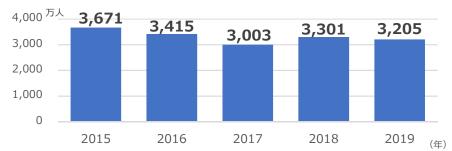
#### 外国人

- 2019年の国立公園区域内における外国人延べ宿泊者数は539万人泊と推計。前年と比較して27万人泊減 (4.8%減)。
- 国立公園区域内における外国人延べ宿泊者数は、2015年から2018年にかけて好調な伸びで推移してきたが、2019年は日韓関係の悪化にともない観光需要の高い地方エリアへの影響が大きく生じたことから、利用者数同様、減少に転じた。

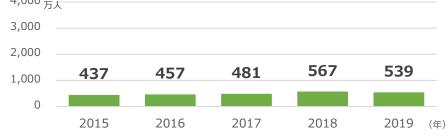
#### 【参考】•

- 【日本人】2019年の日本人延べ宿泊者数全体は4億8,027万人泊(前年比8.2%増)。2015年から2016年にかけて減少したものの、 2017年から2019年にかけて増加傾向。
- ・ 【外国人】2019年の外国人延べ宿泊者数全体は1億1,566万人泊(前年比22.7%増)。2015年から2019年にかけて好調な伸びで推移。

#### 国立公園区域内における日本人延べ宿泊者数







#### 日本人延べ宿泊者数の増減(2015年を100としたときの指数)



#### **外国人延べ宿泊者数の増減**(2015年を100としたときの指数)



# 国内利用者数(位置情報ビッグデータを用いた推計)

#### ■用いた位置情報ビッグデータの概要

- 携帯電話会社が保有する携帯電話の基地局位置情報を用いて算出した人口統計
- ・国内居住者については、**国内契約者数約8,000万台\*から普及率を加味して拡大推計**したもの (\*2020年3月現在)

#### ■対象エリア

・国立公園エリア内(国立公園区域にかかる1kmメッシュを合算したエリア。陸上のみ。)

#### ■集計方法

・調査対象期間に国立公園内に**1時間以上滞在**した、**期間ユニーク人数** 同一の人が複数日にまたがって滞在しても1カウント

#### ■対象者

・国内に居住する15~89歳の男女、かつ、**観光客**\* \*観光庁が規定する「旅行の定義」に則り、通勤・通学でない移動のうち、 **片道移動距離が80km以上**もしくは **所要時間8時間以上の移動**(隣接市町村居住者を除く)を抽出

#### ■対象期間

・2019年1~12月 ※一部公園は2019年4月~2020年3月

#### ■属性

・総数 ・性年代別(10歳階) ・居住地別(都道府県・市区町村)

# 人数のカウント方法 調査対象期間 1日目 2日目 3日目 滞在 滞在 ー-> 1人 滞在 滞在 ー-> 1人 満在 ポー ー> 1人 2人

出典:株式会社ドコモ・インサイトマーケティング

#### (留意事項)

- ・海上移動や山岳利用等で長時間の電波断絶が想定される公園については、基地局位置情報が取得できないこと から過小推計になる可能性があるため、代替手法にて分析を行う(尾瀬、小笠原、南アルプス、白山)
- ・なお、外国人実施の場合は、性年代別分析、代替手法は実施不可

# 国内利用者数(位置情報ビッグデータを用いた推計)

- 2019年\*の国立公園の国内利用者数は約1億596万人と推計。
- 公園別で利用者数が多いのは、富士箱根伊豆国立公園で2,279万人(国立公園全体に占める割合21.5%)、次いで瀬戸 内海国立公園1,877万人(同17.7%)、伊勢志摩国立公園835万人(同7.9%)であった。
- 四半期別でみると、1-3月:2,365万人(年間に占める割合22.3%)、4-6月:2,736万人(同25.8%)、7-9月:3,028万人(同28.6%)、10-12月:2,467万人(同23.3%)であった。

\*尾瀬、小笠原、南アルプス、白山は2019年4月~2020年3月のデータを使用

※参考:環境省「自然公園等利用者数調」によると、2018年国立公園利用者数は3.7億人。

#### 2019年 国立公園別国内利用者数 (利用者数が多い順)

順位	公 園 名	利用者数(万人)	全体に占める 利用者数の 割合(%)	順位	公 園 名	利用者数(万人)	全体に占める 利用者数の 割合(%)	順位	公 園 名	利用者数(万人)	全体に占める 利用者数の 割合(%)
1	富士箱根伊豆	2,279	21.5	13	雲仙天草	211	2.0	25	やんばる	35	0.3
2	瀬戸内海	1,877	17.7	14	中部山岳	209	2.0	26	慶良間諸島	28	0.3
3	伊勢志摩	835	7.9	15	霧島錦江湾	199	1.9	27	釧路湿原	24	0.2
4	日光	752	7.1	16	三陸復興	154	1.5	28	尾瀬	24	0.2
5	上信越高原	742	7.0	17	西海	150	1.4	29	利尻礼文サロベツ	24	0.2
6	吉野熊野	548	5.2	18	十和田八幡平	107	1.0	30	知床	21	0.2
7	阿蘇くじゅう	541	5.1	19	妙高戸隠連山	97	0.9	31	白山	19	0.2
8	山陰海岸	316	3.0	20	大雪山	82	0.8	32	屋久島	14	0.1
9	支笏洞爺	281	2.7	21	西表石垣	76	0.7	33	南アルプス	7	0.1
10	大山隠岐	266	2.5	22	足摺宇和海	73	0.7	34	小笠原	4	0.0
11	磐梯朝日	242	2.3	23	阿寒摩周	72	0.7				
12	秩父多摩甲斐	222	2.1	24	奄美群島	64	0.6	上位	10国立公園の合計	8,438	79.6
								34国	立公園全体の合計	10,596	100.0

<sup>\*</sup>尾瀬、小笠原、南アルプス、白山は2019年4月~2020年3月のデータを使用

#### 2019年1~6月 日本人宿泊者数 (宿泊旅行統計) 及び国内利用者数 (位置情報ビックデータ) の比較

- 宿泊旅行統計及び位置情報ビックデータの活用による、公園内の宿泊客と日帰りを含む利用者の利用傾向が把握可能
- 日本人延べ宿泊者数の上位3公園は、富士箱根伊豆国立公園(国立公園全体に占める割合27.4%)、日光国立公園(同13.6%)、上信越高原国立公園(同9.7%)であった。
- 一方、国内利用者数の上位3公園は、富士箱根伊豆国立公園(国立公園全体に占める割合21.5%)、瀬戸内海国立公園(同18.2%)、伊勢志摩国立公園(同8.8%)であった

#### 2019年1-6月 国立公園別日本人延べ宿泊数\*1及び国内利用者数\*2の比較

2017-1 0/3		77 D T-T-7-1	AID/HXV TV		1 37 207 TUTA					
	日本人延べ宿泊者数		国内利用者数			日本人延/	日本人延べ宿泊者数		国内利用者数	
	人数(人)	シェア (%)	人数(人)	シェア (%)		人数(人)	シェア(%)	人数(人)	シェア (%)	
利尻礼文サロベツ	0	0.0	101,735	0.2	白山	8,518	0.1	113,484	0.2	
知床	5,378	0.0	73,493	0.1	南アルプス	12,109	0.1	11,004	0.0	
阿寒摩周	280,213	1.9	320,693	0.6	伊勢志摩	1,353,845	9.3	4,468,368	8.8	
釧路湿原	958	0.0	100,621	0.2	吉野熊野	268,788	1.8	2,767,312	5.4	
大雪山	266,678	1.8	360,133	0.7	山陰海岸	368,463	2.5	1,459,357	2.9	
支笏洞爺	1,247,137	8.5	1,268,235	2.5	瀬戸内海	625,359	4.3	9,272,148	18.2	
十和田八幡平	201,640	1.4	447,117	0.9	大山隠岐	146,433	1.0	1,263,452	2.5	
三陸復興	57,491	0.4	696,285	1.4	足摺宇和海	74,532	0.5	375,081	0.7	
磐梯朝日	400,146	2.7	1,094,235	2.1	西海	22,952	0.2	753,815	1.5	
日光	1,990,011	13.6	3,455,533	6.8	雲仙天草	212,645	1.5	1,028,930	2.0	
尾瀬	-	-	105,042	0.2	阿蘇くじゅう	450,705	3.1	2,651,981	5.2	
上信越高原	1,421,016	9.7	3,469,876	6.8	霧島錦江湾	297,089	2.0	1,026,100	2.0	
妙高戸隠連山	161,261	1.1	471,378	0.9	屋久島	484	0.0	72,101	0.1	
秩父多摩甲斐	57,607	0.4	1,004,652	2.0	奄美群島	6,934	0.0	324,960	0.6	
小笠原	-	_	16,328	0.0	やんばる	56,117	0.4	168,407	0.3	
富士箱根伊豆	4,007,031	27.4	10,957,821	21.5	慶良間諸島	89,784	0.6	126,982	0.2	
中部山岳	300,255	2.1	806,343	1.6	西表石垣	238,391	1.6	377,069	0.7	
·	,	-	,		全体	14,629,971	71.1	51,010,071	48.5	

<sup>\*1</sup> 日本人延べ宿泊者数:「宿泊旅行統計調査」(観光庁)のデータを利用し推計したもの。推計にあたっては宿泊旅行統計で用いられている母集団名簿の内、国立公園区域内に含まれている宿泊施設を抽出して実施した。 このため、特に国立公園区域内に存在する宿泊施設が少ない国立公園については、地域の宿泊実態との誤差が大きい可能性がある。「尾瀬国立公園」及び「小笠原国立公園」は、標本数が0のため推計不可として扱った。 当該国立公園内の宿泊施設の利用者数の合計人数(子供や乳幼児を含む)であり、1人の利用者が複数の宿泊施設を利用すると重複して計上される

<sup>\*2</sup> 国内利用者数:携帯電話会社が保有する携帯電話の基地局位置情報を用いて推計したもの。対象範囲は国立公園エリア内。尾瀬、小笠原、南アルプス、白山は、基地局データの取得できないため代替分析を実施(2019年4~6月、2020年1~3月のデータを使用)。国内に居住する15~89歳の男女、かつ、観光客が対象であり、調査対象期間に国立公園内に1時間以上滞在した期間ユニーク人数を集計。

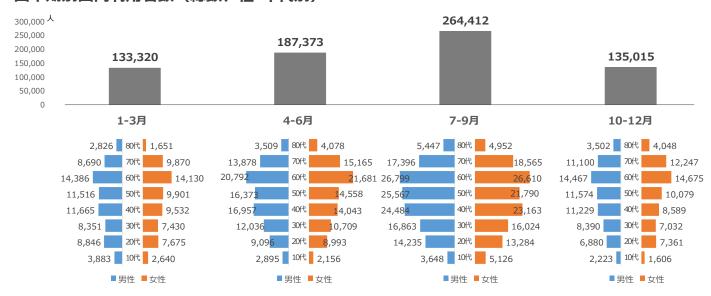
年間利用者数は約72万人。7-9月の利用者数が最も多く、10-12月が最も少ない(1-3月:18.5%、4-6月:26.0%、7-9月:36.7%、10-12月:18.7%)。 年間を通して男女ともに60代が最も多い。北海道からの来訪が半数を占め、7-9月は関東も3割を占める。

#### 国立公園別国内利用者数



#### \*尾瀬、小笠原、南アルプス、白山は 2019年4月~2020年3月のデータを使用

#### 四半期別国内利用者数(総数、性•年代別)



居住地域別【年間/四半期】

		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	年間
利	北海道	81,668	100,700	119,062	82,330	383,760
用	東北	751	4,823	9,338	1,567	16,479
者	関東	22,727	36,143	71,364	19,993	150,227
数	中部	7,323	13,507	20,584	8,548	49,962
$\overline{}$	関西	11,989	14,972	28,065	9,035	64,061
人	中国・四国	3,220	7,288	8,295	4,208	23,011
_	九州・沖縄	4,061	9,730	7,649	8,302	29,742
構	北海道	61.3	53.7	45.0	61.0	53.3
成	東北	0.6	2.6	3.5	1.2	2.3
比比	関東	17.0	19.3	27.0	14.8	20.9
ഥ	中部	5.5	7.2	7.8	6.3	6.9
%	関西	9.0	8.0	10.6	6.7	8.9
<sup>70</sup>	中国・四国	2.4	3.9	3.1	3.1	3.2
_	九州・沖縄	3.0	5.2	2.9	6.1	4.1

※不明を含むため、合計は100%にならない

都道府県別(上位15位)【年間】

都道府県	利用者数(人)	構成比(%)
北海道	383,760	53.3
東京都	56,514	7.8
神奈川県	33,666	4.7
大阪府	27,004	3.7
愛知県	23,153	3.2
埼玉県	22,912	3.2
千葉県	21,908	3.0
兵庫県	15,873	2.2
福岡県	13,685	1.9
静岡県	8,988	1.2
広島県	6,883	1.0
茨城県	6,733	0.9
京都府	6,699	0.9
宮城県	5,270	0.7
岐阜県	4,675	0.6

市町村別(上位15位)【年間】

市区町村	利用者数(人)	構成比(%)
北海道 北見市	38,186	5.3
北海道 帯広市	30,402	4.2
北海道 旭川市	18,100	2.5
北海道 札幌市北区	13,695	1.9
北海道 札幌市東区	12,841	1.8
北海道 根室市	12,527	1.7
北海道 網走市	12,498	1.7
北海道 札幌市中央区	12,310	1.7
北海道 札幌市豊平区	11,762	1.6
北海道 札幌市白石区	11,451	1.6
北海道 札幌市西区	10,673	1.5
北海道 別海町	9,265	1.3
北海道 音更町	7,635	1.1
北海道 厚岸町	7,218	1.0
北海道 札幌市南区	7,182	1.0
		10

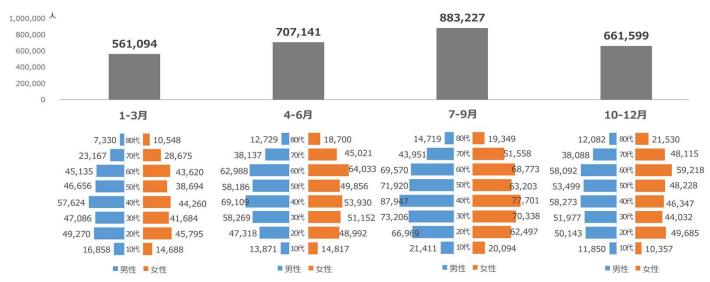
年間利用者数は約281万人。7-9月の利用者数が最も多く、1-3月が最も少ない(1-3月:19.9%、4-6月:25.1%、7-9月:31.4%、10-12月:23.5%)。年間 を通して男性は40代が多い。女性は最多層が時期によって異なるとともに、年代による偏りが小さい。北海道からの来訪が6.5割を占め、7-9月は関東も2割を占め る。

#### 国立公園別国内利用者数



2019年4月~2020年3月のデータを使用

#### 四半期別国内利用者数(総数、性•年代別)



居住地域別【年間/四半期】

		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	年間			
利	北海道	418,043	447,784	519,086	449,410	1,834,323			
用	東北	6,934	18,609	27,865	10,312	63,720			
者	関東	66,885	111,858	180,366	94,913	454,022			
数	中部	23,037	45,432	54,969	36,248	159,686			
$\overline{}$	関西	27,081	48,246	67,291	38,182	180,800			
人	中国・四国	8,368	18,534	18,227	14,158	59,287			
$\overline{}$	九州・沖縄	10,442	16,598	15,385	18,345	60,770			
構	北海道	74.5	63.3	58.8	67.9	65.2			
成	東北	1.2	2.6	3.2	1.6	2.3			
比	関東	11.9	15.8	20.4	14.3	16.1			
ഥ	中部	4.1	6.4	6.2	5.5	5.7			
%	関西	4.8	6.8	7.6	5.8	6.4			
	中国・四国	1.5	2.6	2.1	2.1	2.1			
	九州・沖縄	1.9	2.3	1.7	2.8	2.2			
>	※不明を含むため、合計は100%にならない								

都道府県別(上位15位)【年間】

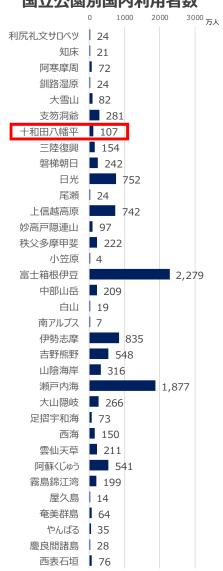
都道府県	利用者数(人)	構成比(%)
北海道	1,834,323	65.2
東京都	170,417	6.1
神奈川県	99,039	3.5
愛知県	79,979	2.8
大阪府	75,797	2.7
埼玉県	66,630	2.4
千葉県	66,344	2.4
兵庫県	44,343	1.6
茨城県	25,997	0.9
福岡県	24,502	0.9
静岡県	22,436	0.8
宮城県	19,165	0.7
京都府	19,084	0.7
広島県	16,712	0.6
岐阜県	16,481	0.6

市町村別(上位15位)【年間】

市区町村	利用者数(人)	構成比(%)
北海道 札幌市北区	152,961	5.4
北海道 札幌市東区	142,386	5.1
北海道 札幌市白石区	124,134	4.4
北海道 苫小牧市	102,174	3.6
北海道 札幌市中央区	77,135	2.7
北海道 札幌市豊平区	74,597	2.7
北海道 札幌市厚別区	70,405	2.5
北海道 函館市	68,229	2.4
北海道 旭川市	63,954	2.3
北海道 札幌市西区	61,762	2.2
北海道 室蘭市	60,419	2.1
北海道 江別市	58,112	2.1
北海道 札幌市手稲区	46,426	1.7
北海道 札幌市清田区	45,740	1.6
北海道 岩見沢市	38,010	1.4
		/7

年間利用者数は約107万人。7-9月の利用者数が最も多い。最も少ない時期は1-3月で、シェアも1割に留まる(1-3月:11.9%、4-6月:29.8%、7-9月:34.1%、10-12月:24.2%)。年間を通して男女ともに60代が多い。東北および関東からの来訪がそれぞれ3.5割を占める。

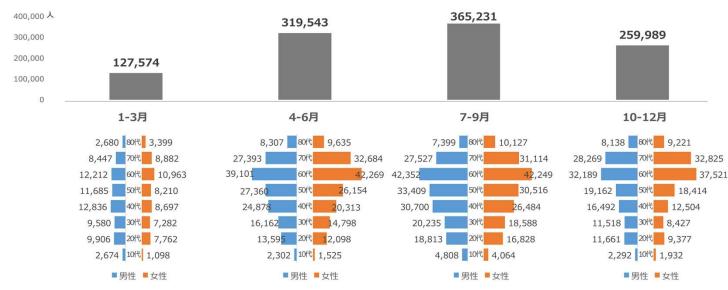
#### 国立公園別国内利用者数



\*尾瀬、小笠原、南アルプス、白山は

2019年4月~2020年3月のデータを使用

#### 四半期別国内利用者数(総数、性•年代別)



居住地域別【年間/四半期】

		1	-3月	4	-6月	7-	9月	10	-12月	í	丰間
利	北海道		4,388	1	2,899	9	9,889		6,889	3	4,065
用	東北	5	8,542	10	7,906	125	5,470	9	6,602	38	8,520
者	関東	4	2,030	10	9,346	145	5,262	8	3,435	38	0,073
数	中部		6,382	3	4,234	36	5,249	2	6,767	10	3,632
$\overline{}$	関西	1	0,468	3	3,317	30	0,901	2	5,786	10	0,472
人	中国・四国		2,512	1	2,113	10	0,027	1	0,778	3	5,430
$\overline{}$	九州・沖縄		1,921		9,599		7,391		9,356	2	8,267
構	北海道		3.4		4.0		2.7		2.6		3.2
伸 成	東北		45.9		33.8		34.4		37.2	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	36.2
此	関東		32.9		34.2		39.8		32.1		35.4
ഥ	中部		5.0		10.7		9.9		10.3		9.7
%	関西		8.2		10.4		8.5		9.9		9.4
	中国・四国		2.0		3.8		2.7		4.1		3.3
	九州・沖縄		1.5		3.0		2.0		3.6		2.6

※不明を含むため、合計は100%にならない

都道府県別(上位15位)【年間】

都道府県	利用者数(人)	構成比(%)
青森県	131,698	12.3
東京都	131,645	12.3
岩手県	91,953	8.6
神奈川県	78,324	7.3
埼玉県	66,897	6.2
宮城県	66,126	6.2
秋田県	61,661	5.8
千葉県	55,678	5.2
大阪府	42,665	4.0
愛知県	35,871	3.3
北海道	34,065	3.2
兵庫県	25,164	2.3
茨城県	22,218	2.1
福島県	21,398	2.0
新潟県	17,250	1.6

市町村別(上位15位)【年間】

市区町村	利用者数(人)	構成比(%)
青森県 八戸市	41,146	3.8
青森県 弘前市	20,204	1.9
岩手県 盛岡市	18,007	1.7
秋田県 秋田市	15,744	1.5
宮城県 仙台市青葉区	10,398	1.0
東京都 世田谷区	8,970	0.8
秋田県 大館市	8,938	0.8
青森県 三沢市	8,742	0.8
青森県 青森市	8,522	0.8
岩手県 北上市	7,371	0.7
東京都 大田区	7,186	0.7
岩手県 花巻市	7,044	0.7
岩手県 奥州市	6,819	0.6
東京都 杉並区	6,801	0.6
宮城県 仙台市泉区	6,708	0.6
		/(

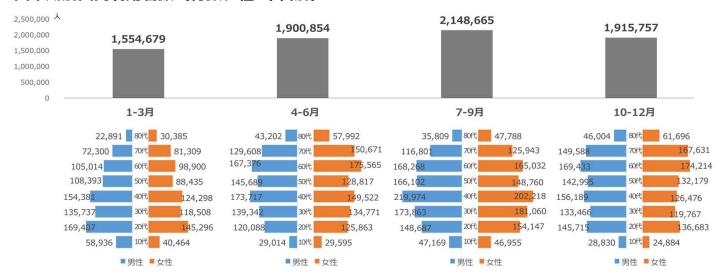
年間利用者数は約752万人(4位)。利用者が最も多い時期は7-9月。最も少ない1-3月の利用者数も2割を超え、季節波動が小さい。(1-3月:20.7%、4-6月:25.3%、7-9月:28.6%、10-12月:25.5%)。1-3月は20代、4-6月及び10-12月は60代、7-9月は40代と、時期によって多い年代層が異なる。関東からの来訪が8割以上を占める。

#### 国立公園別国内利用者数



#### \*尾瀬、小笠原、南アルプス、白山は 2019年4月~2020年3月のデータを使用

#### 四半期別国内利用者数(総数、性•年代別)



居住地域別【年間/四半期】

用東北 110,033 190,032 180,289 157,563 637,917 習 関東 1,332,330 1,466,691 1,761,850 1,540,897 6,101,764 数 中部 56,585 132,697 117,314 119,826 426,422 関西 27,283 54,762 47,583 43,794 173,422 中国・四国 8,839 21,538 17,176 21,100 68,653 九州・沖縄 13,826 23,061 17,342 24,204 78,433 北海道 0.4 0.6 0.3 0.4 0.4 東北 7.1 10.0 8.4 8.2 8.5 関東 85.7 77.2 82.0 80,4 81,1 中部 3.6 7.0 5.5 6.3 5.7 関西 1.8 2.9 2.2 2.3 2.3 中国・四国 0.6 1.1 0.8 1.1 0.8							
用東北 110,033 190,032 180,289 157,563 637,917 者関東 1,332,330 1,466,691 1,761,850 1,540,897 6,101,766 数 中部 56,585 132,697 117,314 119,826 426,422 関西 27,283 54,762 47,583 43,794 173,422 中国・四国 8,839 21,538 17,176 21,100 68,653 九州・沖縄 13,826 23,061 17,342 24,204 78,433 北海道 0.4 0.6 0.3 0.4 0.4 東北 7.1 10.0 8.4 8.2 8.5 関東 85.7 77.2 82.0 80,4 81,1 中部 3.6 7.0 5.5 6.3 5.7 関西 1.8 2.9 2.2 2.3 2.3 中国・四国 0.6 1.1 0.8 1.1 0.8			1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	年間
関東	利	北海道	5,744	11,991	7,085	8,306	33,126
数 中部 56,585 132,697 117,314 119,826 426,422 関西 27,283 54,762 47,583 43,794 173,422 中国・四国 8,839 21,538 17,176 21,100 68,653 九州・沖縄 13,826 23,061 17,342 24,204 78,433 北海道 0.4 0.6 0.3 0.4 0.4 東北 7.1 10.0 8.4 8.2 8.5 関東 85.7 77.2 82.0 80,4 81,5 中部 3.6 7.0 5.5 6.3 5.7 関西 1.8 2.9 2.2 2.3 2.3 9 中国・四国 0.6 1.1 0.8 1.1 0.5	用	東北	110,033	190,032	180,289	157,563	637,917
大字   大字   大字   大字   大字   大字   大字   大字	者	関東	1,332,330	1,466,691	1,761,850	1,540,897	6,101,768
大中国・四国     8,839     21,538     17,176     21,100     68,653       九州・沖縄     13,826     23,061     17,342     24,204     78,433       構 北海道     0.4     0.6     0.3     0.4     0.6       東北     7.1     10.0     8.4     8.2     8.5       以 関東     85.7     77.2     82.0     80.4     81.1       中部     3.6     7.0     5.5     6.3     5.7       9     関西     1.8     2.9     2.2     2.3     2.3       中国・四国     0.6     1.1     0.8     1.1     0.9	数	中部	56,585	132,697	117,314	119,826	426,422
九州·沖縄     13,826     23,061     17,342     24,204     78,433       構 北海道     0.4     0.6     0.3     0.4     0.6       東北     7.1     10.0     8.4     8.2     8.5       以 関東     85.7     77.2     82.0     80.4     81.1       中部     3.6     7.0     5.5     6.3     5.7       %     関西     1.8     2.9     2.2     2.3     2.3       中国·四国     0.6     1.1     0.8     1.1     0.9	$\overline{}$	関西	27,283	54,762	47,583	43,794	173,422
構 北海道     0.4     0.6     0.3     0.4     0.6       成 東北     7.1     10.0     8.4     8.2     8.5       以 関東     85.7     77.2     82.0     80.4     81.1       中部     3.6     7.0     5.5     6.3     5.7       %     関西     1.8     2.9     2.2     2.3     2.3       中国・四国     0.6     1.1     0.8     1.1     0.9	人	中国・四国	8,839	21,538	17,176	21,100	68,653
成 成 財東     7.1     10.0     8.4     8.2     8.2       世中部     85.7     77.2     82.0     80.4     81.1       中部     3.6     7.0     5.5     6.3     5.7       関西     1.8     2.9     2.2     2.3     2.3       中国・四国     0.6     1.1     0.8     1.1     0.9		九州・沖縄	13,826	23,061	17,342	24,204	78,433
成     東北     7.1     10.0     8.4     8.2     8.5       関東     85.7     77.2     82.0     80.4     81.1       中部     3.6     7.0     5.5     6.3     5.7       関西     1.8     2.9     2.2     2.3     2.3       中国・四国     0.6     1.1     0.8     1.1     0.9	塂	北海道	0.4	0.6	0.3	0.4	0.4
比     関東     85.7     77.2     82.0     80.4     81.1       中部     3.6     7.0     5.5     6.3     5.7       関西     1.8     2.9     2.2     2.3     2.3       中国・四国     0.6     1.1     0.8     1.1     0.9		東北	7.1	10.0	8.4	8.2	8.5
中部     3.6     7.0     5.5     6.3     5.7       機西     1.8     2.9     2.2     2.3     2.3       中国・四国     0.6     1.1     0.8     1.1     0.9		関東	85.7	77.2	82.0	80.4	81.1
<b>☆</b> 中国・四国 0.6 1.1 0.8 1.1 0.9	-	中部	3.6	7.0	5.5	6.3	5.7
○ 中国・四国 0.6 1.1 0.8 1.1 0.9	0/2	関西	1.8	2.9	2.2	2.3	2.3
九州・沖縄 0.9 1.2 0.8 1.3 1.0	70	中国・四国	0.6	1.1	0.8	1.1	0.9
		九州・沖縄	0.9	1.2	0.8	1.3	1.0

※不明を含むため、合計は100%にならない

都道府県別(上位15位)【年間】

都道府県	利用者数(人)	構成比(%)
東京都	1,491,484	19.8
埼玉県	1,324,219	17.6
栃木県	857,549	11.4
千葉県	815,069	10.8
茨城県	691,835	9.2
神奈川県	635,039	8.4
福島県	349,348	4.6
群馬県	286,573	3.8
宮城県	143,299	1.9
新潟県	114,016	1.5
愛知県	87,008	1.2
静岡県	76,843	1.0
山形県	69,559	0.9
大阪府	65,487	0.9
長野県	58,221	0.8

市町村別(上位15位)【年間】

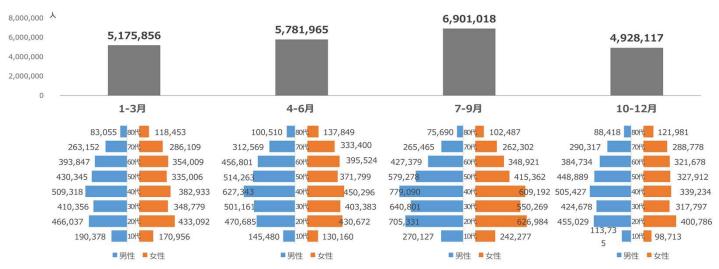
市区町村	利用者数(人)	構成比(%)
栃木県 宇都宮市	195,750	2.6
東京都 足立区	126,334	1.7
埼玉県 川口市	115,396	1.5
栃木県 栃木市	91,177	1.2
栃木県 小山市	89,173	1.2
埼玉県 越谷市	89,139	1.2
東京都 江戸川区	85,136	1.1
千葉県 松戸市	83,734	1.1
東京都 練馬区	83,592	1.1
東京都 世田谷区	83,374	1.1
千葉県 船橋市	80,345	1.1
千葉県 柏市	74,136	1.0
東京都 板橋区	71,668	1.0
福島県 郡山市	70,045	0.9
東京都 葛飾区	70,005	0.9
		/0

年間利用者数は約2,279万人(1位)。7-9月の利用者数が最も多く、10-12月が最も少ない(1-3月:22.7%、4-6月:25.4%、7-9月:30.3%、10-12月:21.6%)。年間を通して男性は40代、女性は20代・40代が多い。関東からの来訪が6.5割を占め、次いで中部が多い。

#### 国立公園別国内利用者数



#### 四半期別国内利用者数(総数、性•年代別)



#### 居住地別国内利用者数

居住地域別【年間/四半期】

		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	年間
利	北海道	22,127	25,360	23,188	19,309	89,984
用	東北	66,325	82,965	84,155	61,216	294,661
者	関東	3,501,127	3,749,881	4,700,010	3,243,487	15,194,505
数	中部	1,276,818	1,514,557	1,656,699	1,285,091	5,733,165
$\overline{}$	関西	198,759	271,310	298,307	206,433	974,809
人	中国・四国	46,953	67,309	67,521	49,508	231,291
)	九州・沖縄	63,681	70,575	71,087	63,040	268,383
構	北海道	0.4	0.4	0.3	0.4	0.4
成	東北	1.3	1.4	1.2	1.2	1.3
比 (%)	関東	67.6	64.9	68.1	65.8	66.7
	中部	24.7	26.2	24.0	26.1	25.2
	関西	3.8	4.7	4.3	4.2	4.3
	中国・四国	0.9	1.2	1.0	1.0	1.0
	九州・沖縄	1.2	1.2	1.0	1.3	1.2

都道府県別(上位15位)【年間】

都道府県	利用者数(人)	構成比(%)
東京都	5,763,030	25.3
神奈川県	5,344,472	23.5
静岡県	3,078,953	13.5
埼玉県	1,873,273	8.2
千葉県	1,398,399	6.1
山梨県	1,006,530	4.4
愛知県	923,073	4.1
大阪府	373,125	1.6
茨城県	354,512	1.6
長野県	314,514	1.4
群馬県	259,435	1.1
栃木県	201,384	0.9
兵庫県	188,247	0.8
岐阜県	168,447	0.7
三重県	133,564	0.6

市町村別(上位15位)【年間】

		144 1511 ()
市区町村	利用者数(人)	構成比(%)
東京都 世田谷区	485,081	2.1
東京都 大田区	297,205	1.3
東京都 八王子市	294,634	1.3
神奈川県 藤沢市	289,179	1.3
東京都 練馬区	271,586	1.2
東京都 杉並区	262,824	1.2
東京都 町田市	246,022	1.1
静岡県 沼津市	245,553	1.1
静岡県 富士市	218,242	1.0
東京都 江戸川区	203,170	0.9
静岡県 下田市	200,681	0.9
神奈川県 横須賀市	200,441	0.9
神奈川県 平塚市	200,060	0.9
東京都 足立区	198,687	0.9
東京都 板橋区	185,830	0.8

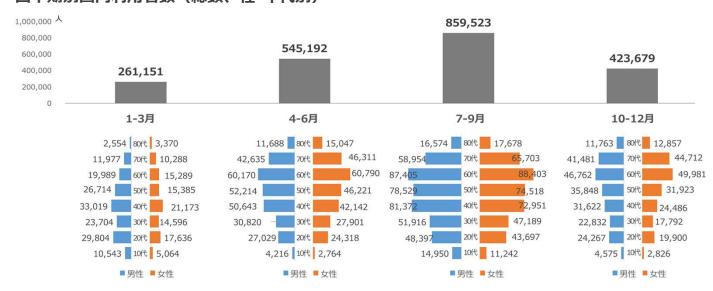
慶良間諸島 28 西表石垣 **7**6 年間利用者数は約209万人。7-9月の利用者数が最も多く4割を超える。一方、1-3月の利用者数は約1割に留まり最も少ない(1-3月:12.5%、4-6月: 26.1%、7-9月:41.1%、10-12月:20.3%)。1-3月は男女ともに40代が多いが、それ以外の時期では男女ともに60代が最も多い。中部及び関東からの来訪がそれぞれ3.5割を占め、次いで関西が多く2割弱を占める。

#### 国立公園別国内利用者数



#### \*尾瀬、小笠原、南アルプス、白山は 2019年4月~2020年3月のデータを使用

#### 四半期別国内利用者数(総数、性•年代別)



居住地域別【年間/四半期】

		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	年間
利	北海道	552	4,320	4,315	2,915	12,102
用	東北	1,099	12,601	22,147	8,418	44,265
者	関東	81,848	192,428	338,840	129,145	742,261
数	中部	112,127	187,403	293,594	176,363	769,487
$\overline{}$	関西	56,476	106,639	155,581	76,000	394,696
人	中国・四国	5,701	22,615	28,624	15,665	72,605
	九州・沖縄	2,594	19,186	16,382	14,932	53,094
構	北海道	0.2	0.8	0.5	0.7	0.6
成	東北	0.4	2.3	2.6	2.0	2.1
比	関東	31.3	35.3	39.4	30.5	35.5
( % )	中部	42.9	34.4	34.2	41.6	36.8
	関西	21.6	19.6	18.1	17.9	18.9
	中国・四国	2.2	4.1	3.3	3.7	3.5
	九州・沖縄	1.0	3.5	1.9	3.5	2.5
※不明を含むため、合計は100%にならない						

都道府県別(上位15位)【年間】

都道府県	利用者数(人)	構成比(%)
愛知県	275,608	13.2
東京都	261,696	12.5
神奈川県	172,614	8.3
大阪府	149,217	7.1
埼玉県	121,786	5.8
長野県	99,960	4.8
千葉県	96,719	4.6
富山県	87,622	4.2
兵庫県	83,872	4.0
岐阜県	81,268	3.9
静岡県	69,312	3.3
石川県	64,526	3.1
京都府	51,982	2.5
新潟県	44,474	2.1
三重県	40,019	1.9

市町村別(上位15位)【年間】

市区町村	利用者数(人)	構成比(%)
石川県 金沢市	30,381	1.5
富山県 富山市	21,115	1.0
東京都 世田谷区	18,809	0.9
富山県 高岡市	18,386	0.9
岐阜県 岐阜市	17,566	0.8
長野県 長野市	16,552	0.8
愛知県 豊田市	15,539	0.7
愛知県 一宮市	14,914	0.7
愛知県 岡崎市	14,546	0.7
東京都 練馬区	14,063	0.7
東京都 八王子市	13,508	0.6
東京都 大田区	12,713	0.6
愛知県 春日井市	12,544	0.6
東京都 杉並区	12,307	0.6
富山県 射水市	10,985	0.5
		/11

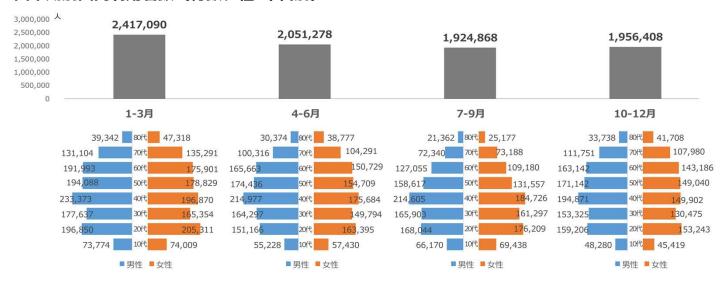
年間利用者数は約835万人(3位)。利用者が最も多い時期は1-3月で、最も少ない時期は7-9月。各期のシェアは2割を超え、季節波動が小さい。(1-3月:28.9%、4-6月:24.6%、7-9月:23.1%、10-12月:23.4%)。年間を通して男性は40代、女性は20代・40代が多い。関西からの来訪が最も多く半数を占め、中部が3割で続く。

#### 国立公園別国内利用者数



#### \*尾瀬、小笠原、南アルプス、白山は 2019年4月~2020年3月のデータを使用

#### 四半期別国内利用者数(総数、性•年代別)



居住地域別【年間/四半期】

		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	年間
利	北海道	13,499	14,471	9,203	13,472	50,645
用	東北	22,983	25,390	19,854	25,262	93,489
者	関東	241,046	271,146	255,763	246,265	1,014,220
数	中部	908,314	635,267	580,944	644,149	2,768,674
$\overline{}$	関西	1,113,233	977,831	964,544	906,118	3,961,726
人	中国・四国	71,979	70,010	55,635	65,808	263,432
_	九州・沖縄	46,029	57,122	38,900	55,279	197,330
構	北海道	0.6	0.7	0.5	0.7	0.6
成	東北	1.0	1.2	1.0	1.3	1.1
比	関東	10.0	13.2	13.3	12.6	12.1
( % )	中部	37.6	31.0	30.2	32.9	33.2
	関西	46.1	47.7	50.1	46.3	47.4
	中国・四国	3.0	3.4	2.9	3.4	3.2
	九州・沖縄	1.9	2.8	2.0	2.8	2.4

※不明を含むため、合計は100%にならない

都道府県別(上位15位)【年間】

都道府県	利用者数(人)	構成比(%)
愛知県	1,922,388	23.0
三重県	1,597,868	19.1
大阪府	1,064,777	12.8
東京都	384,699	4.6
兵庫県	380,618	4.6
岐阜県	379,078	4.5
京都府	299,673	3.6
奈良県	290,665	3.5
神奈川県	246,687	3.0
滋賀県	229,933	2.8
静岡県	223,426	2.7
埼玉県	149,189	1.8
千葉県	128,091	1.5
和歌山県	98,192	1.2
福岡県	76,512	0.9

市町村別(上位15位)【年間】

市区町村	利用者数(人)	構成比(%)
三重県 津市	352,172	4.2
三重県 松阪市	277,999	3.3
三重県 四日市市	221,763	2.7
三重県 鈴鹿市	167,211	2.0
愛知県 豊田市	103,701	1.2
愛知県 一宮市	94,940	1.1
三重県 桑名市	86,763	1.0
愛知県 岡崎市	82,809	1.0
岐阜県 岐阜市	79,987	1.0
愛知県 春日井市	75,615	0.9
大阪府 東大阪市	73,374	0.9
愛知県 名古屋市緑区	68,772	0.8
愛知県 豊橋市	68,312	0.8
愛知県 名古屋市中川区	68,099	0.8
奈良県 奈良市	67,802	0.8

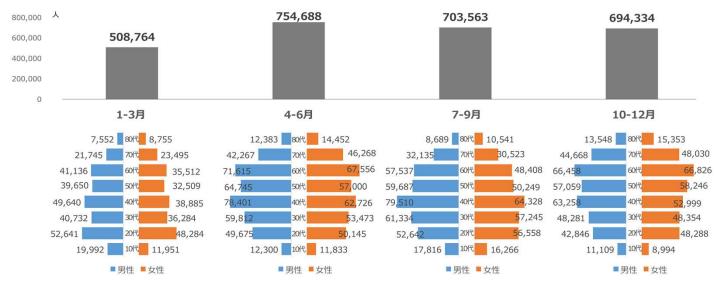
年間利用者数は約266万人。4-6月の利用者数が最も多く、1-3月が最も少ない(1-3月:19.1%、4-6月:28.4%、7-9月:26.4%、10-12月:26.1%)。1-3月は20代、4-6月は40代と60代、7-9月は40代、10-12月は60代と、時期によって多い年代層が異なる。中国・四国からの来訪が半数弱を占める。関西からも2割強を占め、特に夏にその比率が高まる。

#### 国立公園別国内利用者数



2019年4月~2020年3月のデータを使用

#### 四半期別国内利用者数(総数、性•年代別)



#### 居住地別国内利用者数

居住地域別【年間/四半期】

		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	年間
利	北海道	2,339	6,584	3,463	4,815	17,201
用	東北	5,945	14,995	8,924	11,181	41,045
者	関東	58,781	102,948	97,626	88,269	347,624
数	中部	29,998	71,310	50,178	61,678	213,164
$\overline{}$	関西	102,975	163,577	174,093	157,107	597,752
人	中国・四国	281,912	343,900	334,508	327,001	1,287,321
$\overline{}$	九州・沖縄	26,699	51,265	34,769	44,234	156,967
構	北海道	0.5	0.9	0.5	0.7	0.6
成	東北	1.2	2.0	1.3	1.6	1.5
比	関東	11.6	13.6	13.9	12.7	13.1
( % )	中部	5.9	9.4	7.1	8.9	8.0
	関西	20.2	21.7	24.7	22.6	22.5
	中国・四国	55.4	45.6	47.5	47.1	48.4
	九州・沖縄	5.2	6.8	4.9	6.4	5.9

※不明を含むため、合計は100%にならない

#### 都道府県別(上位15位)【年間】

都道府県	利用者数(人)	構成比(%)
島根県	333,563	12.5
広島県	278,363	10.5
岡山県	268,485	10.1
大阪府	236,275	8.9
鳥取県	222,976	8.4
兵庫県	208,683	7.8
東京都	135,931	5.1
愛知県	88,000	3.3
福岡県	79,532	3.0
神奈川県	78,303	2.9
京都府	60,148	2.3
山口県	58,564	2.2
埼玉県	52,910	2.0
香川県	47,056	1.8
千葉県	45,029	1.7

市町村別(上位15位)【年間】

市区町村	利用者数(人)	構成比(%)
島根県 松江市	83,744	3.1
鳥取県 米子市	81,213	3.1
島根県 隠岐の島町	79,405	3.0
岡山県 倉敷市	65,860	2.5
広島県 福山市	49,509	1.9
岡山県 岡山市北区	42,737	1.6
鳥取県 鳥取市	41,195	1.5
島根県 出雲市	34,425	1.3
島根県 西ノ島町	32,225	1.2
島根県 海士町	28,972	1.1
兵庫県 姫路市	26,341	1.0
広島県 広島市安佐南区	25,673	1.0
岡山県 岡山市南区	21,724	0.8
鳥取県 境港市	21,480	0.8
香川県 高松市	20,691	0.8
·		/10

年間利用者数は約541万人。利用者が最も多い時期は4-6月。最も少ない1-3月の利用者数も2割を超え、季節波動が小さい。(1-3月:21.7%、4-6月: 27.3%、7-9月: 25.3%、10-12月: 25.7%)。年間を通じて女性は20代が多い。男性は最多層が時期によって異なるとともに、年代による偏りが小さい。九州・沖 縄からの来訪が7.5割を占め、福岡、熊本からの来訪をあわせると半数以上を占める。

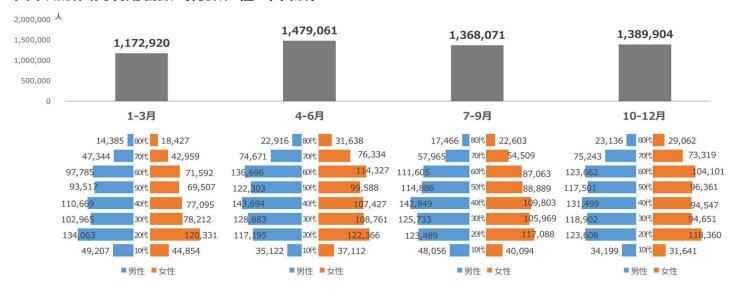
#### 国立公園別国内利用者数



\*尾瀬、小笠原、南アルプス、白山は

2019年4月~2020年3月のデータを使用

#### 四半期別国内利用者数 (総数、性・年代別)



居住地域別【年間/四半期】

		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	年間			
利	北海道	5,515	7,839	3,903	5,945	23,202			
用	東北	4,431	6,373	4,948	5,614	21,366			
者	関東	86,917	110,427	109,459	99,357	406,160			
数	中部	33,439	48,512	38,502	40,455	160,908			
$\overline{}$	関西	65,688	92,976	84,933	78,900	322,497			
人	中国・四国	78,867	112,457	92,378	101,468	385,170			
$\overline{}$	九州・沖縄	897,964	1,100,406	1,033,828	1,058,165	4,090,363			
構	北海道	0.5	0.5	0.3	0.4	0.4			
成	東北	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4			
比	関東	7.4	7.5	8.0	7.1	7.5			
ᄔ	中部	2.9	3.3	2.8	2.9	3.0			
%	関西	5.6	6.3	6.2	5.7	6.0			
70 —	中国・四国	6.7	7.6	6.8	7.3	7.1			
	九州・沖縄	76.6	74.4	75.6	76.1	75.6			
>	《不明を含む》	ため、合計は10	00%にならない						

都道府県別(上位15位)【年間】

都道府県	利用者数(人)	構成比(%)
福岡県	1,485,388	27.5
熊本県	1,367,535	25.3
大分県	478,359	8.8
宮崎県	238,806	4.4
長崎県	178,203	3.3
東京都	173,558	3.2
佐賀県	170,825	3.2
山口県	154,746	2.9
鹿児島県	148,409	2.7
大阪府	142,921	2.6
広島県	93,914	1.7
神奈川県	92,313	1.7
兵庫県	83,981	1.6
愛知県	82,748	1.5
千葉県	55,087	1.0

市町村別(上位15位)【年間】

市区町村	利用者数(人)	構成比(%)
熊本県 熊本市東区	213,028	3.9
熊本県 熊本市中央区	172,171	3.2
大分県 大分市	147,631	2.7
熊本県 熊本市北区	137,449	2.5
福岡県 久留米市	100,236	1.9
熊本県 熊本市南区	98,737	1.8
福岡県 福岡市東区	87,300	1.6
福岡県 福岡市南区	74,443	1.4
福岡県 北九州市八幡西区	72,949	1.3
熊本県 菊陽町	71,959	1.3
熊本県 熊本市西区	69,079	1.3
福岡県 福岡市博多区	67,447	1.2
福岡県 北九州市小倉南区	66,597	1.2
宮崎県 宮崎市	63,032	1.2
鹿児島県 鹿児島市	62,410	1.2
		/ 1 / 1

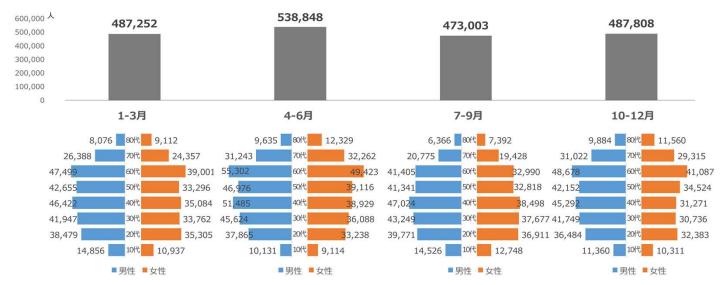
年間利用者数は約199万人。利用者が最も多い時期は4-6月。最も少ない7-9月の利用者数も2割を超え、季節波動が小さい。(1-3月:24.5%、4-6月: 27.1%、7-9月:23.8%、10-12月:24.6%)。男女とも60代が多いが、7-9月は40代が最も多い。九州・沖縄からの来訪が6割弱、特に鹿児島県からの来訪は4 割弱を占める。

#### 国立公園別国内利用者数



2019年4月~2020年3月のデータを使用

#### 四半期別国内利用者数(総数、性•年代別)



居住地域別【年間/四半期】

		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	年間		
利	北海道	3,213	3,934	1,620	2,616	11,383		
用	東北	2,964	4,472	3,265	3,201	13,902		
者	関東	57,783	71,563	63,583	56,954	249,883		
数	中部	26,014	30,285	23,810	26,027	106,136		
$\overline{}$	関西	44,960	53,326	44,460	42,538	185,284		
人	中国・四国	20,612	26,698	18,900	21,271	87,481		
$\overline{}$	九州・沖縄	331,655	348,526	317,290	335,142	1,332,613		
構	北海道	0.7	0.7	0.3	0.5	0.6		
成	東北	0.6	0.8	0.7	0.7	0.7		
比比	関東	11.9	13.3	13.4	11.7	12.6		
ΣU	中部	5.3	5.6	5.0	5.3	5.3		
%	関西	9.2	9.9	9.4	8.7	9.3		
70 —	中国・四国	4.2	5.0	4.0	4.4	4.4		
	九州・沖縄	68.1	64.7	67.1	<b>6</b> 8.7	67.1		

※不明を含むため、合計は100%にならない

都道府県別(上位15位)【年間】

都道府県	利用者数(人)	構成比(%)
鹿児島県	739,640	37.2
宮崎県	199,574	10.0
福岡県	196,129	9.9
熊本県	104,184	5.2
東京都	100,389	5.1
大阪府	83,732	4.2
愛知県	59,856	3.0
神奈川県	58,812	3.0
兵庫県	48,356	2.4
千葉県	35,327	1.8
埼玉県	34,479	1.7
長崎県	30,026	1.5
広島県	28,788	1.4
大分県	25,713	1.3
佐賀県	24,821	1.2

市町村別(上位15位)【年間】

市区町村	利用者数(人)	構成比(%)
鹿児島県 鹿児島市	206,886	10.4
鹿児島県 鹿屋市	101,254	5.1
宮崎県 宮崎市	78,257	3.9
鹿児島県 霧島市	74,939	3.8
宮崎県 都城市	39,862	2.0
鹿児島県 姶良市	27,565	1.4
鹿児島県 日置市	26,403	1.3
鹿児島県 南さつま市	20,634	1.0
鹿児島県 志布志市	20,570	1.0
鹿児島県 薩摩川内市	20,565	1.0
鹿児島県 枕崎市	18,386	0.9
鹿児島県 指宿市	17,903	0.9
鹿児島県 曽於市	17,062	0.9
鹿児島県 出水市	17,052	0.9
鹿児島県 南大隅町	16,912	0.9
		< 4 E

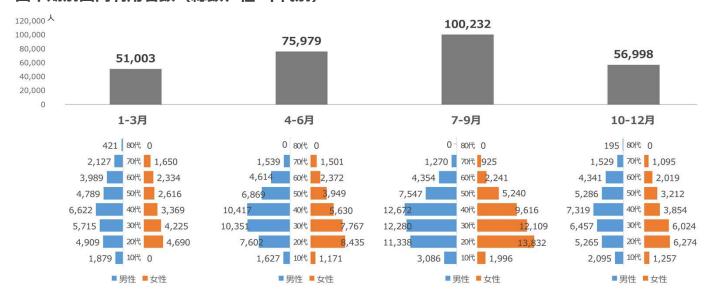
年間利用者数は約28万人。7-9月の利用者数が最も多く、1-3月が最も少ない(1-3月:17.9%、4-6月:26.7%、7-9月:35.3%、10-12月:20.1%)。年間を通して男性は40代、女性は20代が最も多い。九州・沖縄からの来訪が4割弱を占める。関東からも3割強を占め、特に7-9月にその比率が高まる。

#### 国立公園別国内利用者数



#### \*尾瀬、小笠原、南アルプス、白山は 2019年4月~2020年3月のデータを使用

#### 四半期別国内利用者数(総数、性•年代別)



居住地域別【年間/四半期】

		1	-3月	4	-6月	7	'-9月	10-1	2月	í	宇間
利	北海道		974		1,122		967		851		3,914
用	東北		581		718		1,047		767		3,113
者	関東	1	6,040	2.	3,038	3	7,591	19,	255	9	5,924
数	中部		4,236		6,069		8,191	4,	581	2	3,077
$\overline{}$	関西		5,887	1	0,569	1	5,858	7,	089	3	9,403
人	中国・四国		748		1,624		2,636	1,	257		6,265
)	九州・沖縄	2	0,467	3	1,567	M	3,230	21,	731	10	6,995
構	北海道		1.9		1.5		1.0		1.5		1.4
成	東北		1.1		0.9		1.0		1.3		1.1
比比	関東		31.4		30.3		37.5	(1)	3.8		33.8
ഥ	中部		8.3		8.0		8.2		8.0		8.1
%	関西		11.5		13.9		15.8	1	2.4		13.9
70	中国・四国		1.5		2.1		2.6		2.2		2.2
	九州・沖縄		40.1		41.5		33.2	(1)	88.1		37.6

※不明を含むため、合計は100%にならない

都道府県別(上位15位)【年間】

都道府県	利用者数(人)	構成比(%)
沖縄県	93,817	33.0
東京都	43,071	15.2
神奈川県	21,018	7.4
大阪府	20,292	7.1
埼玉県	13,344	4.7
愛知県	12,593	4.4
千葉県	10,820	3.8
兵庫県	9,154	3.2
福岡県	8,479	3.0
北海道	3,914	1.4
茨城県	3,903	1.4
京都府	3,794	1.3
静岡県	3,446	1.2
広島県	2,516	0.9
岐阜県	2,471	0.9

市町村別(上位15位)【年間】

市区町村	利用者数(人)	構成比(%)
沖縄県 那覇市	33,772	11.9
沖縄県 浦添市	9,607	3.4
沖縄県 宜野湾市	7,314	2.6
沖縄県 沖縄市	5,282	1.9
沖縄県 うるま市	4,194	1.5
沖縄県 豊見城市	4,056	1.4
沖縄県 糸満市	3,989	1.4
東京都 世田谷区	3,391	1.2
東京都 大田区	2,766	1.0
沖縄県 西原町	2,315	0.8
沖縄県 北谷町	2,045	0.7
東京都 練馬区	1,988	0.7
沖縄県 読谷村	1,951	0.7
東京都 港区	1,916	0.7
東京都 新宿区	1,833	0.6
	_	/16



## 国立公園満喫プロジェクトの経済効果の試算

#### 1. 国立公園満喫プロジェクトの経済効果の試算 概要

- ・これまでの国立公園満喫プロジェクトをきっかけとして新たに生じた需要額〔(1)、(2)〕を経済効果の源泉とし て産業連関分析手法により経済波及効果を算出した。(7つの公園を対象に実施)
- •ここでいう経済波及効果は、新たに生じた需要額(新規需要)や、その需要を生産するために必要となる原材 料などの生産波及、およびこれらの新規需要や原材料の生産波及により生じる雇用者所得の増加によってもた らされる消費誘発の牛産波及を対象とする。
- •分析モデル構築にて活用可能な産業連関表の最小単位が市町村であることから、分析対象とする国立公園ご とに、国立公園区域に関係する市町村を集約した"国立公園関係地域"と"その他全国"の経済活動の相互 関係を考慮した産業連関分析モデルを活用し、"国立公園関係地域"と"その他全国"の地域別に推計した。

## <経済効果の源泉>

- (1) 国立公園満喫プロジェクトに関連する事業費(対象期間2016~2020年度)
  - 1. 利用拠点の整備費や、多言語化、コンテンツ造成、プロモーション等のソフト事業など、直轄、補助、交付金の総事業費
  - 2. 国立公園の関係市町村内における宿泊施設の新規建設やリニューアルに要する投資額

## (2)プロジェクト実施による国立公園来訪者数の増加に伴い地域に生じた観光消費額

- 1. 訪日外国人(宿泊客)による観光消費の増加額
- 2. 日本人(宿泊客)による観光消費の増加額
  - ■プロジェクト実施前として2015年の来訪者数(宿泊者数)を基準※に、プロジェクト実施後の2016年以降の人数 の変化に着目し、「8公園」と「8公園に準じる3公園」を除く国立公園における変化率をトレンドとして踏まえ、分析対 象とする国立公園における変化率との差分を持って、プロジェクト実施による来訪者変化を算出。これに国立公園に おける平均観光消費額(外国人、日本人:2019年アンケート結果)を乗じて観光消費額の増加額を算出。

〔プロジェクト実施による観光消費額変化〕 = 〔来訪者プロジェクト実施による来訪者人数への影響(推計)〕

[平均観光消費額]

## 国立公園満喫プロジェクト実施に伴う経済波及効果の結果概要

- ・検討対象の国立公園(7公園)に関して、国立公園満喫プロジェクトの実施による需要額を対象に、地域間産業連関分析 モデルにより、経済波及効果を算出した結果、需要額に対して2倍以上の経済効果(生産誘発効果)があった。
- ・分析対象公園によって国立公園関係地域内にとどまる波及効果額の傾向に違いが現れた。 すべての活動を地域内で自給自足することは現実的でないが、当該地域の住民が、観光消費等によってもたらされる経済的な 恩恵を受けられるよう、地域の特色に応じた産業振興を図ることが重要である。

#### <経済波及効果の結果概要(分析対象 7公園)>

(単位:百万円) |経済波及効果(生産誘発額)※1 経済波及効果の源泉 国立公園 **INPUT** その他全国 合計 (インプットデータ) 関係地域 (1) 国立公園満喫プロジェクトに関連する事業費 195,856 73,442 31,646 164,210 (2) 1. 訪日外国人(宿泊客)による観光消費の増加 26,374 28,988 31,344 60,332 2. 日本人(宿泊客)による観光消費の増加 7,442 10,515 5,853 16,367

訪日外国人(宿泊客)による観光消費の増加による経済波及効果> (単位: 百万円)

		経済波及効果	1	
(2) 1. 訪日外国人(宿泊客)による観光消費の増加	INPUT	国立公園 関係地域	その他全国	合計
阿寒摩周国立公園	1,710	2,878	744	3,622
十和田八幡平国立公園	2,012	3,536	810	4,346
日光国立公園	1,438	2,470	411	2,881
伊勢志摩国立公園	1,275	1,1 <mark>61</mark>	1,597	2,759
阿蘇くじゅう国立公園	3,067	5,591	442	6,033
霧島錦江湾国立公園	1,519	2,978	377	3,355
富士箱根伊豆国立公園(うち、富士山地域)	15,353	10,374	26,962	37,336
計	26,374	28,988	31,344	60,332

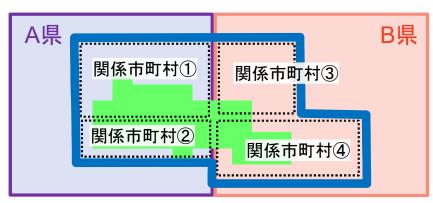
※1:消費内生化モデルによる誘発額の合計。四捨五入の関係で計に一致しないことがある。

※2:表中のスケールバーは、国立公園ごとに地域別の波及効果の大きさの比率を示したもの。

## (参考)

#### <国立公園関係市町村の地域範囲の考え方>

・経済波及効果分析モデルの構築にあたり、活用可能な経済データ(産業連関表)の最小単位が市町村であることから、下図に示す国立公園関係市町村の集合(青い太枠)を分析上の国立公園関係地域と設定した。



国立公園の実際の指定範囲(黄緑)

### <平均消費額>

平均消費額	(円/人)	宿泊	飲食	交通	アクティビ ティ	その他娯 楽サービス	買い物	その他	合計
阿寒摩周	外国人	30,324	12,224	5,616	3,256	2,091	9,492	5,632	68,633
	日本人	11,189	2,253	1,687	1,142	368	1,207	1,536	19,382
十和田八幡平	外国人	33,123	12,055	6,145	733	504	7,333	6,130	66,023
	日本人	10,168	3,091	5,495	940	406	2,342	1,064	23,505
日光	外国人	18,789	6,087	3,285	937	1,936	4,913	1,134	37,081
	日本人	12,188	3,173	3,594	676	767	2,178	345	22,921
伊勢志摩	外国人	33,319	18,590	6,175	4,391	5,105	14,170	8,878	90,629
	日本人	14,199	5,378	5,289	622	782	5,754	918	32,940
阿蘇くじゅう	外国人	12,950	13,516	4,095	1,778	1,698	7,357	1,016	42,409
	日本人	4,429	2,263	2,442	643	519	1,486	413	12,195
霧島錦江湾	外国人	27,583	23,091	8,331	2,629	2,426	27,669	3,807	95,537
	日本人	15,381	7,317	8,406	434	830	6,066	1,317	39,751
富士箱根伊豆	外国人	12,786	5,138	3,773	573	1,997	9,698	5,789	39,754
(一部)	日本人	3,724	2,328	2,075	320	401	1,960	921	11,729

#### **<国立公園満喫プロジェクトに関連する事業費の内容>**

- 1. 利用拠点の整備費や、多言語化、コンテンツ造成、プロモーション等の ソフト事業など、直轄、補助、交付金の総事業費
- 2. 国立公園の関係市町村内における宿泊施設の新規建設やリニューアルに要する投資額

事業名	事業種別	対象時期 (分析対象7公園)
自然公園等事業費	直轄、交付金	2016~2020年度
国立公園満喫プロジェクト推進事業	直轄	2016~2020年度
国立公園利用拠点滞在環境等上質化事業	直轄、補助	2019~2020年度
国立公園核心地利用施設上質化事業	補助	2020年度
国立公園におけるグランビング等促進事業	補助	2020年度
国立公園における地場産品等の提供促進事業	補助	2020年度
国立公園等多言語解説等整備事業	直轄、補助	2018~2020年度
国立公園利活用促進円滑化事業	直轄	2019~2020年度
国立公園利用促進事業 (デジタル展示)	直轄、補助	2019~2020年度
国立公園ビジターセンター等機能強化事業	直轄	2019~2020年度
国立公園等におけるナイトタイムの活用	直轄	2020年度
国民公園訪日外国人旅行需要促進事業	直轄	2019年度
国の関係機関が実施・補助するもので国立公園満喫プロ ジェクトと連携した事業(環境省以外)	直轄、交付金、 補助	2016年度以降 (2019年末時)
国立公園の関係市町村内における宿泊施設の投資額	_	2016年以降の開業 (予定を含む)

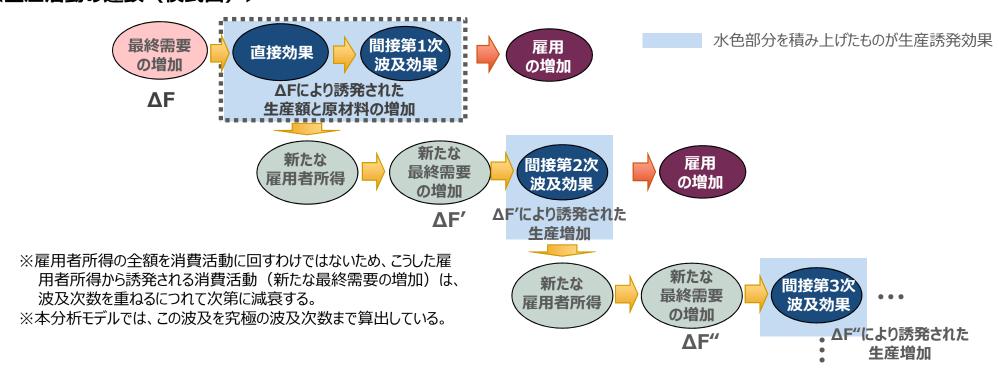
<sup>※</sup> 質の指標に係る2019 年度の調査結果(国立公園訪問者アンケート)より

## (参考)

#### 〈経済波及効果(生産誘発効果)が生じる仕組み〉

- ・国立公園満喫プロジェクトに関連して生じた新規需要の背景には生産活動が紐付いており、需要額に相当する生産額が誘発される。(直接効果)
- ・さらに、その生産活動を行うためには原材料などの投入が必要となるため、生産活動の川上側に位置する原材料としての生産が誘発される。(<u>間接1</u> 次波及効果)
- ・上記の"新規需要(直接効果)"や"原材料等の生産誘発(間接1次波及効果)"の生産活動は、働き手が存在することで成立しており、雇用者にはその活動に応じた所得が生まれる。
- ・雇用者はその所得を原資に消費活動を行い生活を営むが、その雇用者の消費活動の需要を生み出すための生産活動が誘発される。(<u>間接第2次</u> <u>波及効果</u>)
- ・このような新たな需要の発生によって、連鎖的に生じると考えられる生産活動の規模を経済波及効果として算出する。

#### <生産活動の連鎖(模式図)>



## (参考)

#### <産業連関の概念>

- 産業が生産活動を行う上で生じる、【産業間の財・サービスの取引のつながり】を、【産業連関】と呼ぶ。
- ・【地域A】の産業1(食料品製造業)が活動を行う際には、産業2(農業)などから原材料を調達し、また産業3(生産用機械)から製造ロボットを調達、産業4(電力)から製造ロボットを動かすための電気を購入するなど、多様な産業から調達を行い生産を行っていると想定される。
- ・その産業間の取引は、一般的には、【点線矢印】で示すような【地域 A 】の中での産業間取引や、 【実線矢印】で示すような【地域外】との様々な財・サービスの調達関係・販売関係が存在する。

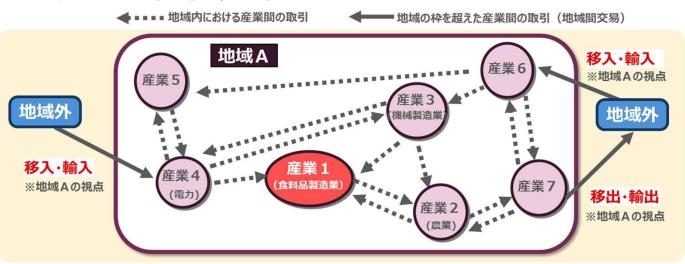


図:産業間・地域間の連関関係の模式図(食料品製造業の例)

#### <本算出で構築する分析モデルの特徴>

- ・雇用者所得の増加によって消費が増加し、消費需要として生産を誘発する"間接2次波及効果"以降の所得・消費の循環を、究極的な波及次数まで 算出可能とする"消費内生化"のモデル構造※を採用している。
- 自然環境の保全と国立公園利用の好循環を目指す今後の国立公園のあり方に照らして、観光産業など地域経済の振興を通じた持続的な地域発展の実現には、国立公園エリアに帰着する所得および消費の地域循環を適切に捉えることが重要であり、通勤を通じて居住地に持ち出される所得の流出入や、居住地内外での消費の流出入を考慮したモデル構造※を採用している。

※石川良文「地方創生政策の効果分析のための汎用型地域間産業連関モデル(RIETI Discussion Paper Series, (独)経済産業研究所,19-J-062,2019/11)」の方法を参考にモデルを構築。

#### 〈産業分類(38部門)〉

No.		産業分類
1	農業	
2	林業	
3	水産業	
	鉱業	
5		食料品
6		繊維製品
7	製造業	パルプ・紙・紙加工品
8	衣但未	化学
9		石油·石炭製品
10		窯業·土石製品

No.		産業分類
11		鉄鋼
12		非鉄金属
13		金属製品
14		はん用・生産用・業務用機械
15	<b></b>	電子部品・デバイス
16		電気機械
17		情報·通信機器
18		輸送用機械
19		印刷業
20		その他の製造業

No.	産業分類
21	電気業
22	ガス・熱供給業
23	水道業
24	廃棄物処理業
25	建設業
26	卸売業
27	小売業
28	運輸·郵便業
29	宿泊・飲食サービス業
30	情報通信産業

No.	産業分類									
31	金融·保険業									
32	住宅賃貸業									
33	その他の不動産業									
34	専門・科学技術、業務支援サービス業									
35	公務									
36	教育									
37	保健衛生·社会事業									
38	その他のサービス									

※2015年地域経済循環分析用データに準拠



## 阿寒摩周国立公園満喫プロジェクトステップアッププログラム2025 概要

#### 基本方針

- ・持続可能な観光地づくりを推進
- ・保護と利用の好循環を実現
- ・自然との共生の文化を世界に発信



#### ターゲット

- ・欧米豪を中心に市場規模が拡 大している**アドベンチャートラ ベルを主要なターゲット**とする
- ・2021年に開催 予定のATWS を契機として、 北海道を世界 に発信
- 国内旅行の誘 客も推進



#### アドベンチャートラベル (AT)

アクティビティ、自然、異文化体験の3 要素のうち、2つ以上で構成される旅行 Activity

Nature Culture

#### 目標

- ・訪日外国人利用者数 31万人(2020目標)の早期達成
- ・国内宿泊者数 80万人の維持
- 連泊利用者、 リピーターの 増加
- ・繁閑差の解消

## 重点的な 取組

#### ポストコロナ

ワーケーション等、ポストコロナ時代の新たな利用形態に対応

#### 道東AT推進

・知床、釧路湿原 との連携等、道 東におけるATを 満喫するための 入口としての機 能を強化



#### 利用拠点再生

- ・廃屋撤去、無電 電柱化の推進等 により、**引き算 の景観改善**を推 進し、民間投資 を促進
- ・公共施設の民間 開放によるサー ビス向上



#### トレイルネットワーク

・トレイル整備及び**移動しながら楽しめる アクティビティ**の充 実により、長期滞在 の旅行を推進



#### 新たな利活用

・保全を前提と しつつ、**新た な自然資源の 利活用**を積極 的に推進

#### 利用者目線での改善

・多言語化、動線の明確化、デザイン統一など、基本的な施設の利用者目線での改善に引き続き対応



#### 持続可能な観光

・脱炭素、プラス チックゴミ削減 も含め、持続可 能な観光地づく りを推進



## 十和田八幡平国立公園満喫プロジェクトステップアッププログラム2025 (案)概要

#### コンセプト (テーマ)

#### みちのくの脊梁~原生林が彩る静謐の湖水、息づく火山と奥山の湯治場

#### 基本方針

- ・上質な滞在環境の創出
- ・持続可能な観光地づくりのための冬季利用の促進
- ・多彩な登山道を活用した歩いて楽しむ利用の推進







#### 目標

震災復興や新型コロナウィルス感染 拡大前への回復

- ·国立公園利用者数約600万人
- ·訪日外国人利用者数約3.4万人
- ・延べ宿泊者数、旅行消費額、 滞在日数、リピータ率の回復
- ・冬季観光コンテンツの充実
- ・満足度のさらなる向上

## 重点的な 取組

#### 国内誘客強化

- ・まずは県内や隣 県を中心に
- ・コロナ禍の状況 を踏まえて段階 的にプロモー ションを展開

#### ワーケーション等の 推進

- ・豊かな自然環境を活用した快適・安全なワーケーションの環境整備
- ・国民保養温泉地における 温泉療養の活用



## キャパシティーコントロール推進

- 紅葉期や自然現象鑑賞時の渋滞対策や混雑緩和
- ・事前予約制や環境協力金 の徴収、マイカー規制の強 化を検討



#### 上質な滞在環境の創出

・廃屋対策の加速化による景観回復 及び跡地の民間活用、宿泊体験を 含めた上質な滞在プランの提案

#### 冬季利用の促進

・氷瀑ツアーなどの冬季観光コン テンツの充実

#### 環境配慮型受入れ環境

・各施設やサービス、体験プログラムにおける省エネ、脱炭素、脱プラへの配慮



## 日光国立公園満喫プロジェクトステップアッププログラム2025(案) 概要

#### 基本方針(目指す姿と取組方針等)

#### NIKKO is NIPPON

自然・歴史・文化 美しい「日本」を感じられる 東京圏のプレミアムリゾート



#### ・上質で奥深い魅力を満喫できる国立公園

観光資源の磨き上げ、景観保全、ハード・ソフト両面での受入態勢整備等により、快適でストレス無くプレミアムな魅力を楽しめる国立公園を目指す。

・体験・滞在・周遊型の国立公園

連携強化、体験メニュー創出、情報発信力・案内機能強化、 交通機関の充実等により、長期滞在・広域周遊しながら本 質的な部分まで体験できる国立公園を目指す。

#### ・脱炭素・循環型を実現する国立公園

持続可能な自然環境保全やCO<sub>2</sub>排出削減などにより、地球環境とも調和し、豊かな自然と共生した国立公園を目指す。

#### 目標

○<u>一人当たりの観光消費額</u> の増加を主な目標とする。

日 2019年 2025年 本 22,921円 28,000円

\_ ※参考値

2019年 2025年

37,081円 65,000円

- ○利用者数・宿泊者数のコ 、ロナ前までの早期回復 ・
- ○質的目標として、来訪者 の満足度向上を目指す。

#### 主な取組

#### 全域での重点取組事項

- ワーケーション等新たな 需要への対応
- ・SDGsツアー、エコツー リズムを通じた持続可能 な環境保全
- ・広域周遊のためのロング トレイルコース等設定
- ・ガイド認定制度の創出
- ・アクティビティの一元的 なプラットフォーム整備
- 日本一きれいなトイレを 目指す

#### ビジネス層向けの取組



「富裕層、ハネムーナー 向けの取組



#### 日光エリア

- ・湯元集団施設地区の再整備 と民間開放
- ·環境保全基金制度創出
- ・観光型MaaSの導入
- E V バスの導入、E V 利用 環境の整備
- ・大使館別荘記念公園等での ^ ユニークベニュー
- ・アウトドア活動拠点の充実
- ・近郊周遊プログラムの構築
- ・夜間コンテンツ充実
- ・電線地中化、歩道拡幅

#### 鬼怒川エリア

- ・自然、テーマパーク 等を活用したヘルス ツーリズム
- ・秘境感を大切にした ガイドツアー充実

#### 塩原エリア

- ・e バイクでのセルフ ガイド付きレンタサ イクル導入
- ・スポーツツーリズム 推進

#### 那須・甲子エリア

- 野営場の再整備
- ・那須VC、那須平成の 森FCの機能強化と民 間開放
- ・ガイド育成システム 構築
- アウトドアグッズレンタル事業の実施
- ・eバイクでのセルフ ガイド付きレンタサ イクル導入
- ・体験メニューの充実



## 伊勢志摩国立公園満喫プロジェクト ステップアッププログラム2025 概要

#### 基本方針

#### 将来ビジョン

悠久の歴史を刻む 伊勢神宮 人々の営みと自然が 織りなす里山里海

至る所に存在する人 と自然の結び目に触 れられる、人々が寄 せては返す波のよう に訪れる国立公園

#### 取組方針1

#### 上質な展望環境及び 快適な利用環境の整備

- ・ 特徴である自然と人の営 みが調和した優れた景観 を楽しむことができる、 "質の高い"展望及び滞在 環境の整備
- 主要な利用拠点への アクセスを含めストレス なく楽しむことができる "快適な"利用環境の整備

#### 取組方針2

#### 観光資源の磨き上げによる ストーリー件を持った質 の高い自然体験等の提供

- エコツーリズムのブラッ シュアップと、高品質な エコツーリズムを提供で きる事業者の育成を推進
- ワーケーションを推進し、 提供する自然体験等の開 発を図り、幅広い利用者 層を獲得、観光業を回復 させる

#### 取組方針3

#### 人々の営みと自然が織り なす優れた景観の保全

優れた景観の保全を図る とともに景観阻害要因の 改善を推進



#### 目標

日本人・外国人 利用者数

コロナ禍前と 同等レベルに 回復

#### 利用の満足度

コロナ禍前より 高い水準を 達成

## 重点的な 取組

誘導・プロモーション

コロナの回復段

階に応じたター

**ゲット設定**とプ

信を活用した情

ロモーション

• SNS及び動画配

報発信

#### ワーケーション推進

- 実施環境の整備 や自然体験等の プログラムの企 画や造成
  - 受入施設等での コロナ感染症対 策の徹底



交通アクセス充実

ICTを活用した 交通サービス等 の検索・予約・ 決済の一元化 (MaaS) の構 築を目指す



拠点施設の機能強化

- 職員の対応能力 強化、**自然体験** プログラムの充
- 情報発信機能及 び物販・多言語 対応充実



景観改善

- 景観計画に基づ く重点地区指定
- ・ 眺望の阻害とな る樹木伐採
- 海岸、海中のゴ ミ対策



エコツーリズム推進

- エコツーリズム全 体構想を策定
- 事業者の育成、受 入体制の強化
- 国立公園に誇りを 持てる**教育プログ**

## ラムの実施



## 大山隠岐国立公園ステップアッププログラム2025 概要

#### ブランディング・テーマ

神話と山岳信仰が息づく 暮らしとともにある 山・島・海











#### 目標

I. 自然と文化を活かした上質な観光を提供し、 大山隠岐国立公園ならではの魅力を極める。

(指標:満足度、消費額、滞在日数など)

II. 新型コロナウイルス感染症による**影響前の水 準まで国内外からの利用者数を回復させる**。

(指標:日本人・外国人延べ宿泊者数など)

ターゲット層

【国内】近畿地方、中国地方、首都圏の在住者【海外】台湾、香港、中国、欧米豪諸国の在住者

#### 取組の方針

重点取組の例

## (1)自然と調和した「持続可能な観光」の実現

- 大山で入山協力金の実証実験を実施
- 隠岐各島でE-bikeやキャンプ等が セットになったツアーを開発・販売
- 島根県内の地域で希少種等の保全活動の体験ツアー化を検討



## (2)感動を与える体験の提供

- 夕方〜早朝の時間帯を含む、自然・文化体験 ツアーの充実化と磨き上げ 大平
- ロングトレイル・サイクリング ルートなど周遊ルートの充実化
- ガイドの育成



#### (3) 多様な利用・需要に応じた サービスの提供

- ワーケーション向けのツアーの 造成、受入環境整備
- 訪日外国人向けの中国5県の観光・交通パスの機能充実化



#### (4)安全安心の確保と 利便性と景観の向上

- 大山登山口に自動翻訳機能付き総合 案内所を整備
- 大山寺と日御碕でまちなみ景観改善
- 景勝地、登山道、ロングトレイルに ある案内看板・誘導標識などを改修

#### (5) 戦略的な誘客・ プロモーションの実施

- 動画サイトを含むSNS、ウェブサイトでの魅力の発信、来訪動機の醸成
- OTAや商談会などを 活用して、体験ツア ーや周遊ルートをPR





## 阿蘇くじゅう国立公園満喫プロジェクトステップアッププログラム2025 概要

#### 基本方針

#### 【世界水準のデスティネーションを目指す】

- ・公園利用者が安心安全に利用できる 受入環境づくりの推進
- ・サステナブルの浸透と広域周遊の展開
- ・地域が一体となった取組体制づくり





#### ターゲット

### 標

訪日外国人利用者数 140万人

(2020月標の据え置き) · 公園利用者数 **2,300万人**(約300万人增)

定性的な指標 満足度、観光消費額、 サステナブルプログラム数等を設定。具体的な

内容はWGで検討。

・国内外の不安定な社会情勢を踏まえ、 各事業へのニーズや提供できるサー ビス現況を捉えたマーケティングを

進め、今後のWGで能動的に設定



## 重点的な取組

#### 新たな公園利用 の提供

ワークスペース、舞台 背景、ミュージアム、 トレーニング施設等の 新たな公園利用への利 活用に向け、展開



#### キラーコンテンツ づくり



火口により近づける活 火山見学、広大な草原 の爽快さを味わえるサ イクルツアー、高度な 登山技術に触れる登山 プログラム等の**阿蘇く** じゅうでしか体験でき ないコンテンツを造成

#### 広域周遊の促進

周辺の国立・国定公園 等の利用コンセプトが 近い地域との往来を促 進する等により**広域周** 游を促進

ジオパーク周遊 (イメージ)



#### SDGsの推進



既存ツアーのサステ ナブル化、パーク& ライドによる渋滞解 消、e-バイク導入 による脱炭素化等に より、公園利用を通 じたSDGsを推進

#### 地域・事業者との連携強化

地域協議会の他、阿蘇くじゅうならではのサス

テナブルのあり方や マーケティング等の 課題別に検討する WGを設置。機動的 きめ細かい連携体制

を構築





## 霧島錦江湾国立公園満喫プロジェクトステップアッププログラム2025 概要

#### コンセプト

多様な火山とその恵み、壮大な 歴史と神話に彩られた霧島・錦江湾 ~まるごと楽しむ南九州の 自然・文化・食~



#### 目標(~2025年)

- ①コロナ収束前
  - コロナ影響前の国内利用者数の復活
- ②コロナ収束後、地域の実情を踏まえまずは新型コロナウイルスの影響前の訪日外国人利用者数の復活

### ターゲット

- ①国内さらにはエリアを絞り九州内、 隣県、県内。特に消費が多い利用者
- ②アジア地域が中心 客単価の高い欧米豪の個人旅行客

#### 重点施策・集中的な取組

- ・消費額増加・満足度向上
- ・夜間・早朝の体験プログラムの開発・充実やロングトレイルの設定等
- プロモーションや交通手 段の充実等。
- ・サステナビリティ
- ・保護と利用の好循環。
- ・民間事業者、銀行と連携

## 地域別の 取組方針等

#### 全体

・脱炭素に向け た取組を検討

### 霧島地域 多様な火山地形と火山の恵み

- ・廃屋撤去等、一体的な景観改善
- ・e-bikeの導入等、二次交通の改善
- ・ロングトレイルにより滞在長期化
- ・民間事業者や銀行と連携し、周遊性を高めるアクティビティの導入



#### 桜島・錦江湾奥地域 陸から海から活火山桜島を間 近に体験

- ・民間事業者と連携し、 1)アクセスを改善
- 2)新たな環境保全型の自然体験型ツーリズム実施



#### 指宿・佐多地域 多様な温泉と開聞岳の眺め

- ・駐車場等で利用者負担による滞 在環境の上質化を検討
- ・フェリーに接続する二次交通の 維持に向けて検討
- ・新たな夜間利用として佐多岬で の星空観察会等を実施。





## 慶良間諸島国立公園満喫プロジェクトステップアッププログラム2025 概要

#### 基本方針

- ○「ケラマブルーの世界」を満喫 できる持続可能な旅の提供
- ○リトリート空間の充実
- ○サンゴ礁の保全



- ▶ 島らしいゆっくりした 時間を過ごすための 情報発信、空間の提供、 滞在メニュー充実
- 豊かなサンゴ礁を 地域と来訪者がともに 守る仕組みづくり





- ◆ 「青のゆくる館 |
- ・国立公園の新たな情報発信、 滞在利用、普及啓発、交流拠点 ・民間導入による地域に根ざし た管理運営、公園づくりを促進

#### 目標

#### ○宿泊率

日帰り利用から宿泊利用への転換を促し、低下傾向にある宿泊率を改善

○一人あたりの消費額の向上

地域の努力により、平均消費額の特に 向上が見込める「飲食費」と「買い物 費」項目を改善

○満足度の向上

旅行全体の高い満足度を維持しつつ、 特に評価の低い「お土産」項目を改善

#### 重点的な取組

## 情報発信強化・ デジタル化

- ・多言語によるきめ細 かな情報提供
- ・キャッシュレス化の 推進、ウェブ予約シ ステム (宿泊、アクティ ビィ等) の対応強化

旅行中旅行後

デジ<mark>タル化に</mark>よる 体系的・一元的な 情報提供

#### 受入環境整備

- ・展望台、ビーチの 老朽化施設の快適 性、質的向上
- ・サインの多言語化、 Wi-Fi整備、ユニ バーサル化の促進



#### 受入体制の充実

- ・青のゆくる館の サービス体制充実
- ・ガイド事業者のス キルアップ、育成
- ・質の高い宿泊サー ビスの提供



#### コンテンツの磨き上げ、 体験メニューの多様化

- ・滞在を促すアク ティビティの充実、 陸域の活用
- ・冬期利用促進のた めのルート、プロ グラム開発



#### 持続可能な利用の実現

- ・サンゴ礁保全のための普及啓発促進
- 環境協力税の活用、 環境保全活動の継続





## 支笏洞爺国立公園満喫プロジェクト推進プログラム2025 概要

支笏湖・定山渓地区自然体験活動推進協議会

#### 7つの基本方針

- ①支笏湖・定山渓地区の魅力を国内 外へ周知
- ②自然体験プログラムの充実
- ③国立公園にふさわしい自然体験 フィールドの充実とその管理
- ④サスティナブル・ツーリズム (持続可能な観光)の実現
- ⑤多様な滞在スタイルの推進
- 6周辺地域や他の国立公園との連携
- ⑦自然体験活動の推進体制の強化

- ・アドベンチャー トラベル・ワール ドサミット (ATWS)を契機 として、北海道を 世界に発信
- ・脱炭素化・ワーケーション・持続可能な観光の取組
- ・身近なレジャー やマイクロツーリ ズムの誘客も推進





#### 目標 (2019年実績)

- ・国内外宿泊者延べ数
  - 129.5万人
- ・日帰り利用者数
  - 133.2万人
- ・季節変化(繁閑差)の緩和
- ・訪日外国人利用者数 (2019年推計値)への回復目標 **17.1万人**
- ・訪日外国人宿泊客利用者数 (2019年推計値)への回復目標 **23.6万人**

## 重点的な 取組

#### AT推進

- ・2021年9月に北海 道で開催予定の ATWSで空港や都 市からの利便性が 高い公園をアピー ル
- ・ガイド同伴のプログラム開発・充実

#### 滞在拠点整備

・キャンプ場の上 質化、**廃屋の撤** 去による景観改 善を行い、閑散 期の利用促進に 向けた再整備・ 滞在施設の充実



#### ワーケーション

・オンライン業務 やテレワークが 浸透したことか ら、自然の中で **ワーケーション** 等、新たな利用 形態に対応



#### 脱炭素化・二次交通三次交通

・支笏湖温泉地区でのEV 充電スポット整備・EV カーシェアリングや電 動自転車の活用による 脱炭素化推進



#### 持続可能な観光

・オーバーユースによる利 用者負担の仕組みも検討 しつつ、プラスチックゴ ミ削減も含め持続可能な 観光地づくりを推進



#### 新たな利活用

- ・アイヌ文化や縄 文遺跡群など公 園区域外の活動 と連携
- ・フィールドの保全 管理を前提としつ つ、新たな景観資 源の利活用を積極 的に推進





## 中部山岳国立公園南部地域ステップアッププログラム2025 概要

#### 取組方針

- ・SDG s の推進
- ・COVID-19への対応
- ・新しい需要への対応
- インバウンドへの対応



持続可能な地域づくりへの貢献

日本の国立公園の多様性の 発信

## 重点取組の抜粋

## 2025プログラムのビジョン

松本-高山Big Bridge構想の実現



地域の自然・文化・歴史を体感できるルートとしてブランディング。基盤整備等により長期滞在も実現。起終点から伸びる多様なルートを設定

#### 数値目標

#### <利用の質>

- ·消費額/人 30%増
- ·宿泊日数 4.5泊(1泊増)
- ・国立公園認知度 80%

#### <利用者の数>

- ・総利用者数 **10%増**
- ・訪日外国人利用者数 46万人(2019時点/独自推計の実績値)の早期回復
- ・閑散期の底上げによる利 用平準化

#### 新しい需要

・乗鞍高原のワーケーションビレッジ化



#### 保護と利用

・ツアー参加費、 宿泊費の一部を 保護活動に回す 等の取組を増加

#### ポータルサイト

- ・作成済「南部地域」ポータルサイトの協働型運営体制を確立
- リアルタイムの 情報発信





#### ハードAT

・山小屋文化と 3,000m級の ハードアドベン チャーによる**日** 本ならではの登 山文化を魅せる ATツアーを実施





#### 世界水準の観光地の実現

・公園の核心部となる 上高地と沢渡・平湯 で連携強化により サービス・ホスピタ リティ等を上質化



## サスティナブルツーリズム

・脱炭素、脱プラなど、郷土料理 GSTCが求める要件 も踏まえ、現状把握 の上、目指す方向性 を整理し、各種取組 を実施



#### 移動の充実

・**移動自体を魅** 力的な体験コ ンテンツにす ることによる 満足度向上

#### 世界観の創出

・国立公園に入っ た**気分を盛り上 げる演出**(景観、 制服、レク チャー等)を複 数場面で実施

SMS

支笏湖・定山渓地区自然体験活動推進協議会

#### これまでの成果例(1)

#### アクティビティコンテンツの新規開発・質の向上

- ●日本の国立公園コンテンツ集に14コンテンツ8事業者掲載(昨年10コンテンツ6事業者)
- ●ナイトタイムの利活用としてナイトカヌーやナイトシュノーケリングなど宿泊に繋がる夜間アクティビティコンテンツを開発し、来年度以降自走予定
- 支笏湖地区にてアドバイザーを招聘し、モデルツアーの実施や台湾市場へのSMSを利用したプロモーションを実施

#### ①コンテンツ開発

- ▶ 日本の国立公園コンテンツ集に掲載し、コンテンツの充実を図った
- ▶ ナイトタイム活用のため夜間コンテンツの開発や試験ツアーを実施
- アドバイザーを招聘し、モデルツアー を体験してもらい、意見を基にブ ラッシュアップを実施



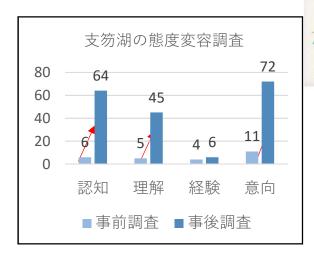


## ②台湾市場へのプロモーション

※現段階でコロナ対策に成功し、訪日外国人の早期回復が 見込まれる「台湾」をターゲットに設定

- ➤ SMSのプロモーションでは、開始 3ヶ月で1,334のフォロワーを獲得
- → 台湾国内のカフェ18店舗の協力によりマップ5,000枚、ポストカード3,000枚配布(予定の倍数配布)
- → 台湾では「支笏湖」はあまり馴染みのないエリアではあったが、 プロモーションによる効果で、認知度と理解度が大幅に増加
- マーケットリサーチでは78%がアクティビティに興味を持ち、

そのうち82%が支笏湖へ行って みたいとの結果がでた







## 支笏洞爺国立公園満喫プロジェクト 主な成果例

支笏湖・定山渓地区自然体験活動推進協議会

#### これまでの成果例(2)

#### 支笏湖地区での受入環境整備と魅力向上

- 支笏湖ビジターセンター来場者が約1.2倍(インバウンド約1.5倍)に増加(2016年228,924名(内インバウンド25,876名)→2019年267,724名(内インバウンド38,176名))
- 支笏湖ビジターセンター内外でのゆったりとした快適な時間を過ごすための滞在空間の向上・景観改善・防減災 (展望デッキ・充電スポット・VR映像展示、電線地中化)
- ●滞在拠点施設やビューポイントにおける多言語対応の充実、フリーWi-Fiの整備により受入環境を強化

## ①支笏湖ビジターセンター 内外の滞在空間の向上

- ➤ 展望デッキ・充電スポットの新設と Wi-Fi整備で、ゆったりと快適に過ごせる空間へ
- ▶ 常設のVR映像展示を先行導入
  - ※樽前山の火口や苔の洞門などの立入規制エリアや、 水中ダイビング、カヌーなどを疑似体験できるゴーグル とタッチモニターを設置

# 大電スポット 一大電スポット 展望デッキ

#### ②多言語対応・受入環境強化

- → 標識等の多言語化とUni-Voice 導入(タイ語を含めて6言語対応)
- 園地内のフリーWi-Fiの整備







#### ③電線の地中化による 景観改善と防減災対応

景観改善や風倒木の断線リスクの軽減













## 支笏洞爺国立公園満喫プロジェクト 2019年までの主な取組と成果

●訪日外国人国立公園利用者数(2020年目標 20.4万人) 2016年 2017年 2018年 2019年 11.1万人 → 19.0万人 → 17.9万人 → 17.1万人

#### これまでの成果例(3)

#### ①公園周辺地域の利用推進と連携

- 札幌国際スキー場のオフシーズン活用のため定山渓と シャトルバスを運行
- ウポポイ(民族共生 象徴空間)との連携 のため「ウポポイ活用 促進プラットフォーム」 を開設



#### ② ビジタ-センターにおけるコンテンツ発信

▶ ビジターセンター(支笏湖・洞爺湖)にデジタルサイネージを設置し、約60種類のアクティビティを紹介するコンテンツを発信。観光案内所との併用による相乗効果の他、緊急時や臨時休館の際の情報提供ツールとしても活用

#### ③ 湖面利用ルールの策定と利用者負担の検討

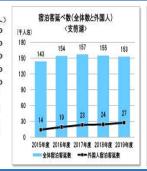
支笏湖の利用集中エリアで適正利用のルールブックを配付 更に周辺整備に合わせた利用者負担の仕組みを検討中

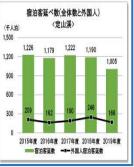


#### 取組による成果・効果

・公園内延べ訪日外国人利用者数は 2016年比で2019年は約1.5倍に増加。 訪日外国人宿泊客延べ数も2018年に 1.5倍に増加。訪日外国人平均泊数は支 笏湖地区で右肩上がりに上昇(1.21人 泊)し、定山渓地区も微増(1.03人泊)







#### 今後の課題・強化が必要な取組

- ・2021年北海道開催のアドベンチャートラベル・ワールドサミット (ATWS)に向けた受入体制の整備
- ・空港や都市からの利便性を活かしたマイクロツーリズムの推進
- ・コロナ禍でニーズが高まった**ワーケーション**等の新たな利用形態への対応

- ・滞在拠点整備により閑散期の利用も促進
- ・脱炭素化・ゴミ削減・オーバーユースや利用者負担の検討など、持続可能な観光地づくりを推進
- ・ウポポイ(民族共生象徴空間)や縄文遺跡群など 公園区域外との更なる連携と**新たな景観資源の利** 活用







## 中部山岳国立公園南部地域満喫プロジェクト主な成果例

#### これまでの成果例(1)

### 利用拠点エリアの改善 (上質化など) により上質な体験を提供

- 民間施設のリニューアルを図り、インバウンドはもとより国内観光客にとっても上質な体験の提供が可能となった
- また、プロジェクト開始以降、景観改善に関する勉強会を重ね、利用拠点の上質化の計画検討がスタート

#### ① 平湯温泉バスターミナルの休憩所新設

- バス待ちのための屋根しかな かったところ、待合所を新設
- ⇒ 待合所内には、平湯の歴史・ 文化を紹介する展示により、 バス待ち時間を体験の一環に



#### ② ロープウェイのリニューアル

- ゴンドラ・駅舎含めてR2 にリニューアル。鍋平駅の 駅舎施設は上質に
- 駅舎での滞在時間の増 にも貢献



#### ③ 上高地の通信インフラの整備

- 比較的軽装備でもアプローチ可 能な横尾まで光ケーブルを整備
- 横尾までの各拠点には、利便性 向上のみならず、防災機能強化 も目的にWifiを整備

#### ④ 利用拠点の上質化の計画検討と適正な誘客促進のスタート

#### > 乗鞍高原

行政、地域が連携して、「のりくら高原ミ ライズ」が策定され、今後、利用環境の 向上、施設リノベーション、アクティビティ充 実等を進める予定



#### 国立公園の情報発信機能の強化

#### 利用ポイントのリニューアル

自然の質が高い場所で利用者が多い木道 等の施設をリニューアル





#### これまでの成果例(2)

## 国立公園の最新情報を届ける、地元関係者で運営を想定した英語版ウェブサイトを整備。SNSでの情報提供も。

また、ブランディングや幅広い関係者による国立公園の盛り上げを図るための取組もスタート。

#### ① 英語版ウェブサイト・SNSの整備

- 協議会のプロモ実行チームで協働運営
- ▶ また、公式Facebookを立ち上げ、天候 や利用状況の迅速な情報提供の実施 や、職員による特別企画も実施

#### ② 登山ガイドマップの英語版作成

登山ガイドマップの英語版を 作成。さらに、登山道のグ レーディングや歴史・文化 情報も加味



#### ③ 中部山岳国立公園南部地域口ゴ

持続可能な公園づくりとブランディングのた め、コンセプトを示す**ロゴマークを作成** 

> Birthplace of the Japanese Alps (日本アルプス発祥の地)

## 中部山岳国立公園南部地域満喫プロジェクト主な成果例

#### これまでの成果例(3)

### 保護と利用の好循環の推進

- 国立公園の基本理念である「保護と利用の好循環」を実現する商品の発売開始
- 山岳利用にあたっての利用者負担の仕組みについて関係行政機関、山小屋事業者等との調整を開始

#### ① 乗鞍高原カフェの売上3%

▶ 売り上げ3%を環境整備に寄付。 主に乗鞍高原産の商品、ごみゼロな ども実行 № Сопе с М ТКОТИТЕ

#### ② 五色ヶ原の森・ライチョウツアー

- ▶ 「五色ヶ原の森」のトレッキングツアーコースを2019年に拡充。ガイド料の一部は整備等の環境保全経費
- ▶ R2に観察ルール整理、参加費の 一部をライチョウ保護へ充てるツ アーをR3実施に向け検討中

#### ③ 利用者負担の検討

- ▶ 山岳エリアの登山道、トイレ等の整備・維持を持続可能なものにしていく必要
- コロナ禍も重なり、環境整備の受益者である利用者による 負担の仕組み作りを検討中



#### これまでの成果例(4)

### AT、行政界によらない等の新たな視点での利用推進

- 日本のアルプス発祥の地として海外とのつながり深い3,000m級のハードアドベンチャーと麓のソフトアドベンチャーを組み合わせた長野県と連携したATの推進や行政界によらない国立公園だからできる乗鞍岳統一プロモーションを実施
- また、国立公園の世界観・結界感を創出し、気分を盛り上げるワクワク感の創出や特別な体験を開始

#### ① アドベンチャーツーリズムの推進

▶ 日本アルプス発祥という歴史的な地名度を ⇒ 生かした山岳と麓の多様なアドベンチャー により、国内外に刺さるストーリーを作成



#### ② 乗鞍岳統一プロモーション

県境をまたがる
 <u>争ョンで一気通買の利用を推進</u>。
 乗鞍
 関係者間による実行チーム立ち上げ



#### ③ 世界観・結界感の創出

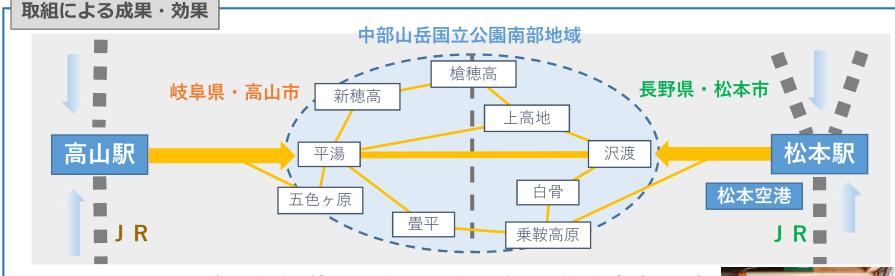
▶ 国立公園での楽しみを盛り上げるべく、例えば、上高地でのキャンプ前にビジターセンターでのレクチャー受講をルール化。注意点だけでなくワクワク感を高めるレクチャーを実施

#### 4 ナイトタイムエコノミーなど

- > <u>これまで活用していなかった時間帯の活用</u> による新たな体験を提供開始
- 今後、閑散期を検討

## 中部山岳国立公園南部地域満喫プロジェクト 2016年 2017年 2018年 20 2020年までの主な取組と成果

2019年 6.7万人 → 7.0万人 → 5.4万人 → 7.5万人 (34.3万人) (39.9万人) (40.7万人)



- 松本駅、高山駅などの**国立公園外と国立公園内を含めた動線の利用提案**がされはじ め、県境をまたいだ関係者間の連携を始めることができた
- これまで連携したくてもできなかった公園外の事業者等の方との連携体制も構築。中部 山岳国立公園パートナシップとして、まずは11事業者※と国立公園ブランド価値を発信

※カモシカスポーツ、岐阜新聞、信濃毎日新聞、大信州酒造、高山信金、飛弾産業、飛弾山椒、飛弾信組、松本信金、松本ブルワリー、松本山雅FC

エリア全体としてWifi、多言語などの利用環境の向上、利用拠点ごとの**景観改善、サー** ビス充実、持続可能な地域づくりなどの議論が活性化(次期SUPに複数の取組を記載)



上げを2020.12にスタート

#### 今後の課題

- 国立公園外とのさらなる連携強化、県境で途切れないエリア全体のブランディングと発信
- **気候変動、脱プラ**など地球規模問題へのコミット、保護と利用の好循環の充実による**持続可能な観光の推進**
- 施設単体ではない、エリアとしてのホスピタリティの最高ランクへの引き上げ、リアルタイムの一元的な情報発信
- 日本独特の山小屋文化とセットにした3,000m級の山岳エリアの魅力発信
- オーバーユースを発生させずに利用推進を図るための、閑散期の底上げによる利用平準化

## 富士箱根伊豆国立公園満喫プロジェクト・主な成果例

#### これまでの成果例(1)

#### 箱根ビジターセンターの機能強化と密を避けた利用形態の実現

- ・箱根ビジターセンターリニューアルにあたり、解説文や展示マップ、シアタールーム等の多言語化やデジタル化を強化
- ・アフターコロナを見据え、屋外広場を活用したコンサートやキッチンカー誘致など密を避けた新たな利用形態の実現

#### ①多言語化&デジタル化

- ▶ ネイティブライター現地取材に基づく、多言語解説文
- ▶ シアタールーム高画質、デジタルサラウンド対応
- ▶ QRコード&スマートフォンによる解説文デジタル対応





#### ②密を避けた新たな利用形態の実現

- ▶ 屋内音楽コンサートを、アウトドアチェアを新たに調 達して、屋外コンサートに転換
- ▶ 地元のハンドドリップ式カフェやキッチンカーを初誘致





#### これまでの成果例(2)

#### 国立公園特集ページ(英語)の新規開設とプロモーションの実施

- ・箱根地域のインバウンドサイト「HAKONE JAPAN」に富士箱根伊豆国立公園特集ページを新規開設
- ・外国人旅行者を誘客している首都圏のホテルコンシェルジュ等へ営業実施
- ・箱根DMOと緊密に連携してSNSなどを活用した海外プロモーションの実施

#### ①国立公園特集ページ新規開設

⇒ 箱根地域のインバウンドサイト 「HAKONE JAPAN」に英語 50,000Word相当追加

#### ③ホテルコンシェルジュ等へ営業実施

▶ 首都圏のホテルコンシェルジュ (20社程度) に対して、直接営業

#### ②SNS等を活用した海外広報

新根DMOと連携して欧米豪 向けに「Japan Awaits」を テーマにSNS広告配信

## 富士箱根伊豆国立公園満喫プロジェクト 主な成果例

#### これまでの成果例(3)

#### 芦ノ湖地域でのアクティビティツアーの充実と水上交通のアクセス改善

- ・ナイトタイム等活用調査検討業務による事業者等の意向や連携、利用者ニーズの把握を通して、アクティビティツアー新規プログラム開発促進
- ・湖尻集団施設地区と環境省所管地白浜のアクセス改善による芦ノ湖地域の一体的な魅力向上

#### ①新規プログラム開発促進

- ▶ ナイトタイム実証実験の一環として、環境省所管地である芦ノ湖白浜発のカヤックツアーや湖尻集団施設地区発の早朝トレッキングツアーを初実施(2021年3月)
- ⇒ 湖尻集団施設地区の野営場とカヤック事業者をマッチング(2021年度アクティビティ開始予定)
- 新根ビジターセンター発着のEバイクツアーを初実施 (2020年秋)

#### ② 芦ノ湖水上交通のアクセス改善

▶ 地元ボート事業者桟橋の共用や浜辺への小型ボート乗り入れにより、芦ノ湖地域の一体的な魅力の向上、水上交通のアクセス改善

#### ③利用動態調査

▶ 先行して、箱根地域の交通渋滞解消 を目的とした調査を行い傾向を把握







## 富士箱根伊豆国立公園満喫プロジェクト 2020年までの主な取組と成果

●訪日外国人国立公園利用者数 2015年 2016年 234万人 → 258万人 → 258万人 → 299万人 → 309万人 (1.4 %)(1.4 %)

2017年 (1.6 %) 2018年 (1.7%)

2019年 (1.6 %)

◆「富士箱根伊豆国立公園満喫プロジェクト推進方策 | 策定(2019年4月):富士山・箱根地域を重点として展開

#### ○地域協議会:富士山・伊豆諸島

- 富士山における適正利用推進協 議会
  - ▶ 4ルート共通標識ガイドラインの設定
  - > 「富士山における適正利用推進プロ グラム | 策定 (~2025)
  - ▶ 官民協働の会合(年1~2回)
- 国立公園伊豆諸島地域連絡協 議会

「伊豆諸島ビジョン ~国立公園でつな がる伊豆諸島 | 策定

#### 取組による成果・効果

- 国内外共に安定した来訪者数
- 適正な利用の浸透
- ▶ 非混雑地域への利用の拡大
- ジオパークとの連携:箱根・伊豆半島・大島

## 今後の課題

- ◆ オーバーツーリズムの分散
- 適正な利用の維持と推進
- 域内周游・循環と利用地域の拡大

#### ①富士山の適正利用

- 世界文化遺産と連携した「望ましい富士 登山の在り方」の実現に向けた管理
- 外国人利用者への情報発信強化 富十登山オフィシャルサイト(英語版)の 構成見直しと内容刷新

#### ②富士山麓のエコツーリズム促進

- 御中道解説看板の多言語化
- 富十山須走口五合目園地の整備: ビジターセンターの新設
- SDGsを意識した富士山麓エコツアーや ワーケーションプログラムのプロモーション



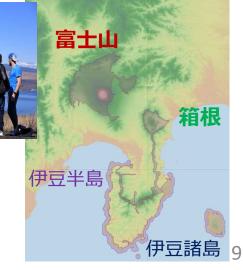
#### ○公園地域全体のプロモーション

- 「富士山がある風景100選」情報発信
- 先進的事業者と連携したVJTMやTEJ 等の展示・商談会への積極的参加
- 自然と文化の魅力を伝える体験型コン テンツの再発掘



長期滞在利用者・リピーターの増幅

- 良質なエコツーリズムの普及
- 外国語情報・ガイドの充実化



## (概要) 国立公園満喫プロジェクトの2021年以降の取組方針

参考資料1

- 2016年~2020年までのプロジェクト実施により、特に8国立公園で、プロモーション、施設改修、Wi-Fi整備、 多言語化等進展したが、「世界水準」のブランドカ・認知度や、民間と連携した利用の質の向上は不十分。
- ・コロナウイルスの影響により国内外の利用者数が大幅に減少し、公園事業者の事業継続と雇用維持が課題。 アウトドアレジャーやテレワークの関心高まりによる新たなライフ&ワークスタイルの転換が見込まれる。
- 訪日外国人の今後の回復は不透明だが、現時点で2030年の政府全体目標は維持(訪日外国人6000万人)



国立公園満喫プロジェクトを以下の観点から**2021年以降も継続的に実施し、新たな** 展開を図る。

#### 基本的な方針

- 1 ウィズコロナ・ポストコロナ の時代への対応 ~ワーケーション等~
- 2 水平・垂直展開 ~8公園から全公園へ~
- これまでの基本的な視点 の継続・重視

- **国内誘客の強化**、地域内観光の受け皿として再構築
- ワーケーションなど国立公園の新しい利用価値を提供
- コロナ禍での安心・安全で快適に利用できる受入環境整備
- 国立公園のブランディング、多様な利用者層をターゲットにしたコンテンツ充実・情報発信
- 限定体験やキャパシティコントロールの推進による保護と利用の好循環
- 全34公園の底上げ・水平展開(法改正も含む制度化検討、総合展開型・個別事業型)
- **さらなる高みを目指した集中的な取組**による「世界水準のデスティネーション」の実現 (保護と利用の好循環、上質なサービス、キラーコンテンツ、周辺地域との広域周遊、サステナブルツーリズム等)
- 先行8公園等は取組継続・成果を生かした誘客
- 国定公園・ロングトレイルの資源の活用・連携

最大の魅力は自然そのもの/人の暮らし・文化・歴史を有する自然との共生の姿/ 「体積」で考える/幅広い利用者層に対応/広域的な視点/サステナビリティ

#### 目標・指標

当面の目標 (~2025)

- ・自然を満喫できる上質なツーリズムの実現とブランド化。そのための「質」の目標・指標の設定(延べ宿泊者数、認知度等)
- ・新型コロナウイルスによる影響前の国内利用者の復活
- ・訪日外国人利用者数1000万人目標を見据えた、同ウイルスによる影響前の訪日外国人利用者の復活
- ・取組を行う公園・地域ごとに個別の目標・指標を設定 ※政府全体目標次第で必要な見直しを検討

長期目標(~2030)政府全体目標を踏まえつつ、上記の「当面の目標」の達成状況をフォローアップする中で検討



## (概要) 国立公園満喫プロジェクトの2021年以降の取組方針

#### 具体的なアクション

#### (1)国立公園満喫プロジェクトの制度化

• 満喫プロジェクトによる<u>適正な利用促進の取組を自然公園制度に反映</u>(自然体験プログラムの促進、利用拠点滞在環境の上質化等)

#### (2) 国立公園の新しい利用など幅広いターゲットを想定した情報発信とコンテンツ造成

- 国内誘客に重点をおき、「国立公園」の認知度を向上させるためのプロモーション。
- ワーケーション等の新しい利用、アドベンチャーツーリズム、サステナブルツーリズム等の様々なターゲット。
- 日本の国立公園の特徴・ストーリーを活かした地域内外のブランディングやコンテンツ造成。現地で活躍する人材育成。

#### (3)質の高さや快適性・環境保全に配慮された体験利用の推進と保護と利用の好循環

• 限定体験やキャパシティコントロールの推進、利用者負担の仕組みづくり。利用形態に応じたゾーニング(エリア分け)

#### (4) 利用者受入れのための基盤整備

- 基盤とする利用環境の整備(多言語化、トイレ洋式化等)を先行8公園以外の国立公園に展開
- ・ ビジターセンターの利用案内機能の強化と他施設との連携促進
- 感染対策や自然災害に対応した安全で快適な利用施設の提供(ビジターセンター等環境整備、山小屋の施設改修等の支援検討)
- 利用施設やサービス等における脱炭素・脱プラなど環境配慮型の受入環境づくり

#### (5)滞在したくなる利用拠点を目指した景観の磨き上げ

• 面的な利用拠点上質化、廃屋撤去。廃屋化防止のための公園事業の経営状態の把握や改善指導

#### (6) 官民連携の強化・広域的取組への発展

- <u>地域の金融機関や交通機関等</u>との連携体制構築。<u>民間企業やDMOとの連携強化</u>と取組の更なる発展
- 複数公園・周辺観光地との広域的な周遊利用、文化・地場産品等を含めた地域一帯のプログラム造成、ロングトレイルの活用

国立公園満喫プロジェクトの取組成果を踏まえ、令和3年度予算による多言語化の充実やコンテンツの造成・受入体制整備の支援及び自然公園法の改正案により国定公園に展開を図り、優れた自然資源を活かして広域的な自然観光を推進する。

### 1. 令和3年度予算案等における国定公園対象事業

- ①国立公園等多言語解説等整備事業(補助)
- ②国立公園等の自然を活用した滞在型観光コンテンツ創出事業(補助)
- ③国立公園・温泉地等での滞在型ツアー・ワーケーション推進事業(令和2年度3次補正予算)(補助)

#### 【展開の方法】

- 各補助事業に対する公募を通じて支援
- ▶ ①②については、以下の点などを考慮して優先的に支援
  - ・自然景観等のポテンシャルの高さ、地域における受入体制の充実状況、周辺の国立公園との一体利用等
  - ・訪日外国人旅行者の地域での受入環境を整えるもので、訪日外国人の誘客が見込める地域

#### (参考) 支援事業の公募情報ウェブサイト

○地方公共団体・事業者向け支援事業【令和2年度補正予算及び国際観光旅客税等】 http://www.env.go.jp/nature/np/ryokakuzei00/index.html

### 2. 自然公園法改正案の主な内容

- ①地域主体の自然体験アクティビティ促進の法定化・手続きの簡素化
- ②地域主体の利用拠点整備の法定化・手続きの簡素化
- ③保全管理の充実

#### 詳細については以下を参照

○令和3年3月2日発表:自然公園法の一部を改正する法律案の閣議決定について http://www.env.go.jp/press/109250.html



当推計は、観光庁「訪日外国人消費動向調査(全国調査)」の調査票情報を利用し推計したもの。具体的な推計手順は以下のとおり。
①訪日外国人消費動向調査の「訪問地選択肢コードのうち、国立公園内の観光地等を抽出(680の訪問地選択肢コードのうち139を抽出)
②訪日外国人消費動向調査における訪問地ごとの選択率(当該訪問地の回答数/有効回答数)を算出。
③訪日外国人の母集団構成に合わせるため、上記②について国籍・地域別及び出国港別ウェイトバック\*を実施(平成29年以前は国籍・地域別ウェイトバックのみ。)。
\*日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」及び法務省に出入国管理統計」をウェイトとして使用。
④JNTO「訪日外客数」の総数に、上記③のウェイトバック後の選択率を乗じ、推計。

								訪日外国	人利用者数	Þ									
公園名	H27	H28			H29				H30						H31/R	11			
	推計実利用者数 *1(千人)	標準誤差率 (%)	推計実利用者数 *1(千人)	標準誤差率 (%)	推計実利用者数 *1(千人)	標準誤差率 (%)	推計実利用者数 *1(千人)	前年増減 (%)	標準誤差率 (%)		)推計実利 頼区間)		推計実利用者数 *1(千人)	前年増減 (%)	標準誤差率 (%)	(参考) (95%信息	准計実利 顔区間)	利用者数 *2(千人)	
1 利尻礼文サロベツ	5	31.6%	14	21.1%	10	26.9%	13	35.5%	26.6%	6	~	20	9	-31.7%	31.6%	3	~	15	
2 知床	21	15.4%	28	14.5%	20	18.7%	38	84.3%	15.8%	26	~	49	14	-63.7%	25.8%	7	~	21	
3 阿寒摩周	63	8.9%	58	10.2%	57	11.2%	58	2.4%	12.7%	44	~	72	51	-12.2%	13.4%	38	~	64	
4 釧路湿原	34	12.0%	27	15.0%	39	13.5%	42	8.1%	15.0%	30	~	54	34	-18.0%	16.2%	23	~	45	
5 大雪山	64	8.8%	83	8.5%	60	10.9%	80	32.5%	10.8%	63	~	97	83	3.9%	10.4%	66	~	100	
6 支笏洞爺	688	2.6%	827	2.7%	901	2.8%	1,068	18.4%	2.9%	1,006	~	1,129	959	-10.1%	3.0%	902	~	1,016	
7 十和田八幡平	7	26.7%	22	16.6%	19	19.5%	29	55.8%	17.9%	19	~	40	34	16.8%	16.3%	23	~	45	
8 三陸復興	10	22.4%	16	19.2%	15	21.6%	13	-14.8%	26.9%	6	~	20	23	76.4%	19.9%	14	~	32	
9 磐梯朝日	0.5	100.0%	4	39.4%	9	27.4%	6	-36.7%	39.6%	1	~	11	11	83.3%	28.8%	5	~	17	
10 日光	190	5.1%	241	5.0%	271	5.1%	304	12.2%	5.5%	271	~	337	276	-9.4%	5.7%	245	~	307	
11 尾瀬	-	-	2	53.2%	-	-	-	-	-		-		1		128.4%	0	~	2	
12 上信越高原	214	4.8%	265	4.7%	322	4.7%	341	5.7%	5.2%	306	~	376	354	3.9%	5.0%	319	~	389	
13 秩父多摩甲斐	19	16.2%	22	16.5%	10	26.7%	11	12.4%	29.0%	5	~	18	12	7.7%	27.5%	6	~	19	
14 小笠原	-	-	0	133.5%	-	-	2	-	72.4%	0	~	4	2	38.7%	60.4%	0	~	5	
15 富士箱根伊豆	2,341	1.4%	2,577	1.4%	2,580	1.6%	2,991	15.9%	1.7%	2,892	~	3,090	3,093	3.4%	1.6%	2,994	~	3,192	
16 中部山岳	338	3.8%	351	4.1%	382	4.3%	376	-1.5%	5.0%	339	~	413	351	-6.6%	5.1%	316	~	386	
17 妙高戸隠連山	8	24.2%	6	32.5%	13	23.4%	14	9.4%	25.7%	7	~	21	17	18.3%	23.2%	9	~	24	
18 白山	3	40.8%	1	66.3%	2	68.3%	4	147.4%	49.8%	0	~	7	8	99.9%	34.7%	2	~	13	
19 南アルプス	-	-	1	93.6%	2	57.2%	1	-69.0%	117.9%	0	~	2	0.2	-73.1%	223.5%	0	~	1	
20 伊勢志摩	33	12.2%	61	9.9%	76	9.7%	49	-35.6%	13.9%	36	~	62	71	44.6%	11.3%	55	~	86	
21 吉野熊野	53	9.7%	59	10.1%	67	10.3%	63	-5.9%	12.2%	48	~	78	64	2.7%	11.9%	49	~	79	
22 山陰海岸	32	12.4%	50	10.9%	43	12.8%	41	-5.5%	15.1%	29	~	53	46	11.1%	14.1%	33	~	58	
23 瀬戸内海	296	4.1%	310	4.0%	387	4.3%	676	75.0%	3.7%	627	~	725	671	-0.8%	3.6%	623	~	719	
24 大山隠岐	6	28.9%	14	20.8%	11	25.5%	5	-57.0%	44.7%	1	~	9	12	152.3%	27.7%	5	~	18	
25 足摺宇和海	0.5	100.0%	5	35.4%	5	38.3%	1	-85.9%	117.3%	0	~	2	3	357.3%	53.9%	0	~	6	
26 西海	55	9.5%	74	9.0%	56	11.3%	45	-18.9%	14.4%	32	~	58	65	44.7%	11.8%	50	~	81	
27 雲仙天草	28	13.2%	29	14.4%	25	16.8%	23	-10.4%	20.4%	14	~	32	15	-34.7%	24.8%	8	~	22	
28 阿蘇くじゅう	682	2.7%	675	2.9%	926	2.7%	1,034	11.7%	3.0%	974	~	1,094	752	-27.3%	3.4%	702	~	803	
29 霧島錦江湾	71	8.3%	79	8.7%	129	7.4%	142	10.7%	8.1%	120	~	165	120	-15.8%	8.7%	99	~	140	
30 屋久島	10	22.4%	17	19.0%	25	16.8%	17	-31.7%	23.4%	9	~	25	22	28.4%	20.3%	13	~	31	
31 奄美群島					6	35.0%	2	-73.0%	77.3%	0	~	4	2	58.8%	60.4%	0	~	5	
32 やんばる			-	-	-	-	22	-	20.8%	13	~	31	15	-30.8%	24.6%	8	~	22	
33 慶良間諸島	-	-	-	-	-	-	27	-	18.5%	18	~	37	24	-12.5%	19.4%	15	~	33	
34 西表石垣	12	20.4%	14	20.8%	14	22.7%	32	129.5%	17.2%	21	~	42	12	-61.1%	27.2%	6	~	19	
合計(選定された8公園 *3)	1,052	-	1,150	-	1,488	-	1,649	10.8%	-	1,574	~	1,724	1,340	-	2.6%	1,273	~	1,407	
合計(各公園計)	5,284	0.8%	5,932	0.9%	6,482	0.9%	7,569	16.8%	1.0%	7,425	~	7,713	7,228	-4.5%	1.0%	7,088	~	7,368	
合計(推計実利用者数)	4,902	0.9%	5,457	0.9%	6,001	1.0%	6,940	15.7%	1.0%	6,800	~	7,080	6,669	-3.9%	1.0%	6,533,344	~	6,804,918	
訪日外客数全体 *4	19,737	-	24,039	-	28,691	-	31,192	8.7%	-		-		31,882	2.2%	-		-		

…年ごとの上位10公園

…参考值 \*5

・・・参考値・5 (訪日外国人利用者数の推計値についての注意点) \* 1 推計実利用者数: 当該国立公園を訪れた実際の利用者数の人数。1人の利用者が同一公園内の複数地点を利用しても1人と数える。また、合計(選定された8公園)及び合計(各公園計)は、1人の利用者が2つの公園に訪れると2人と数え、合計(実利用者数)は、1人の利用者が複数の公園を訪れても1人と数える。千人単位で四捨五入している。 \* 2 95%信頼区間: 同じ母集団の標本調査を100回行うと、そのうち95回はこの区間の中に母平均が含まれる。 \* 3 国立公園満喫プロジェクトにおいて先行的・重点的に取組を進めることとされた公園。阿寒摩周国立公園、十和田八幡平国立公園、日光国立公園、伊勢志摩国立公園、大山隠岐国立公園、阿蘇くじゅう国立公園、霧島錦江湾国立公園、慶良間諸島国立公園。 \* 4 訪日外客数全体:出典:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」 \* 5 標準誤差率が30%以上の公園については、サンプル数が少なく信頼性が低いので、参考値とする。取り扱いには十分注意し、転載や二次使用する際には、信頼性の低い参考値であることを明記し、その旨を理解して使用すること。(特に、「訪日外国人消費動向調査」の調査対象空港が少ない場所においては、捕捉率が低くなっている可能性がある。)

※平成29年以前の「慶良間諸島国立公園」及び「やんばる国立公園」は、「訪日外国人消費動向調査」の訪問地選択肢コードに該当する地点が無かったため、推計対象外。 ※平成27年の「尾瀬国立公園」・「小笠原国立公園」・「南アルプス国立公園」、平成29年の「尾瀬国立公園」・「小笠原国立公園」及び平成30年の「尾瀬国立公園」は、標本数が0(欠損)のため推計不可として扱った。 ※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

## 国立公園満喫プロジェクト有識者会議 委員名簿

<敬称略·五十音順>

#### 【学識者】

ロバート キャンベル (国文学研究資料館長)

カくいしろう **涌井史郎(東京都市大学特別教授) ※座長** 

#### 【観光関係者】

いしいいたる 石井 至 (株式会社石井兄弟社社長)

えざき き 〈 江﨑貴久(旅館海月女将、有限会社才ズ代表取締役)

デービッド・アトキンソン (小西美術工藝社社長)

ほしのよしはる **星野佳路(星野リゾート代表**)

【ジャーナリスト・ライター】

<sup>のぞえ</sup> 野添ちかこ(温泉と宿のライター)